

特230

503



始



特 230
503



落成記念



我が社が神田鎌倉河岸に呱呱の聲を挙げたのは明治四十二年九月であります。其翌年六月に、小石川區指ヶ谷町に木造社屋を新築して之に移り、爾來二十六年の間其處で事業を經營して参りました。

當時の國定教科書翻刻發行規定は、日本書籍株式會社、大阪書籍株式會社と共に、我々發行會社は、その製造圖書を全部株式會社國定教科書共同販賣所に賣却し、共同販賣所から全國に供給する組織で、我々は國定教科書總發行冊數の四割を發行して居ました。然るに昭和五年規程の改正に依り、共同販賣所は廢止せられ、三發行會社で全國を三分して、直接之に供給することとなり、我々の供給區域は、關東から九州にかけて、一府十九縣と定められ、其の發行冊數は總發行冊數の三割七分五厘となり、従前より二分五厘減少致しました。然し國定教科書の需要は、年々増加しましたから、我々の創立當初は國定教科書の一ヶ年總發行冊數僅かに四千七百

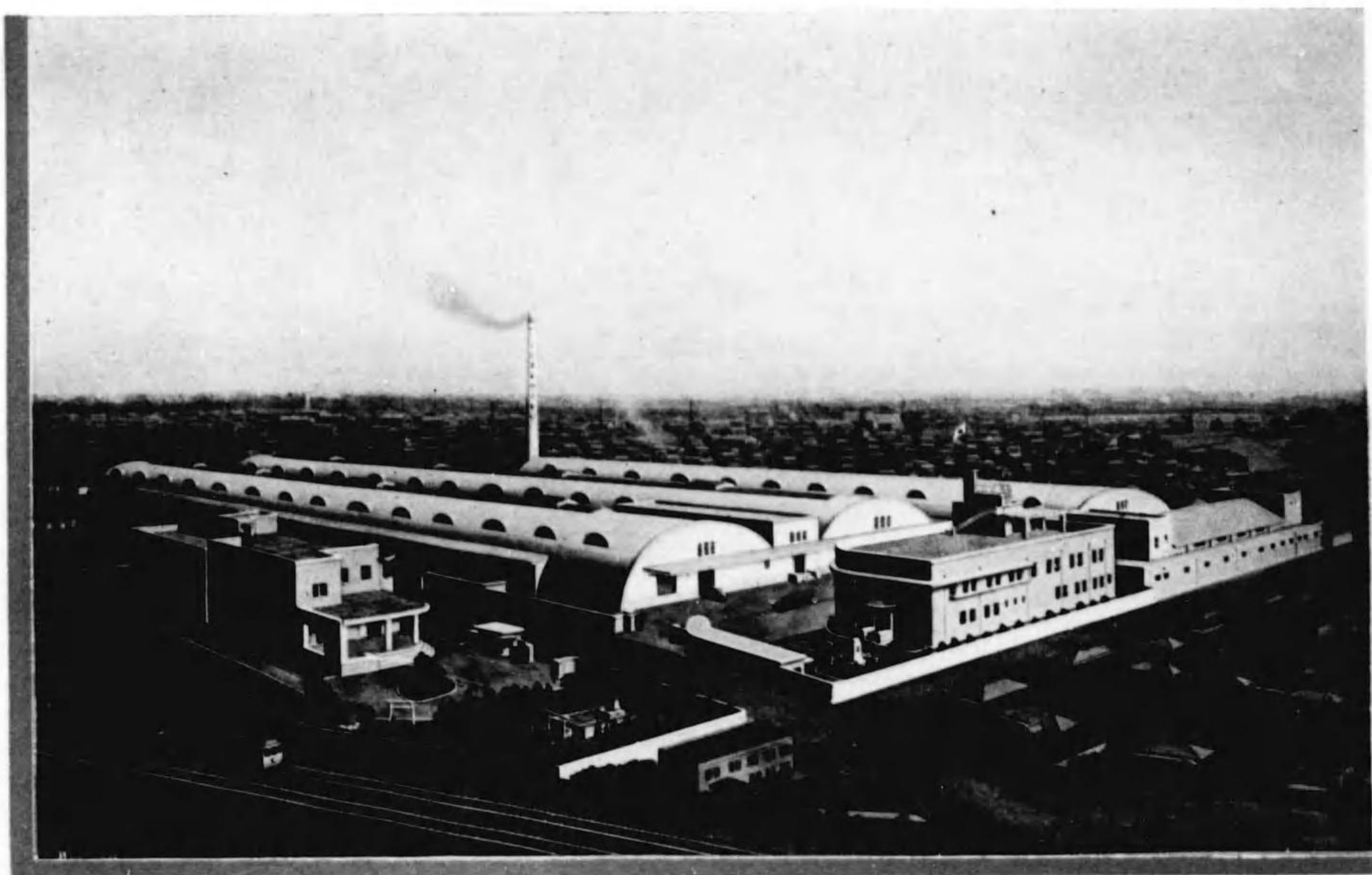
三十餘萬冊で、我社は其四割、約一千九百萬冊を發行するに過ぎなかつたのですが、今日では一ヶ年の總發行冊數八千萬冊を超え、我社は其の約三割七分五厘、三千二百萬冊を發行することになりました。

昭和八年度分から讀本、修身、算術等の教科書が、漸次色刷となり諸設備の改善増大するにつれて、社屋擴張の必要に迫られ、一昨年五月から、當所に耐震耐火社屋の新築を企て、漸く茲に工を竣へ、新機械、諸設備亦完成を告げ、小石川から全部此處に移轉致しました。

新社屋は、事務所、食堂、製版工場、印刷工場、製本工場、圖書倉庫、材料倉庫等に分たれ、其中、工場倉庫の建築は、獨逸ユンケル航空會社の新案なる、ダイヤモンド、トラス型を用ひ、梁なく柱なく、使用上の便宜が多いです。此等の建築物と道を隔て、隣接地に天照皇太神を奉祀せる神社を新築し、社員従業員等をして、日夕之に參拜して、

神徳の崇高、國體の尊嚴を威得せしめることに致し、又東書文庫を建設して、我國を始め、諸外國の小學校教科書、竝に之に類似せる各種文獻を彙集陳列し、古今東西に亘つて、初等教育の變遷を知る參考資料と致しました。併し此企ては、容易に大成する譯には參りませんから、倦まず弛まず、永遠を期する覺悟です。又此處に一般の圖書をも備付けて、社員従業員の福利施設とし、修學、修養、趣味、娛樂の機關と致しました。

願ふに我社の創立以來既に二十有七年、其間、發行規程は度々改正せられ、許可年限は度々満了したるも、些の蹉跎なくして今日に至り、最近また明年度より六ヶ年間、翻刻發行の繼續許可を與へられ、社運益隆盛に社基愈堅牢を加へましたことは、偏に文部當局の嚴正な董督と、大方各位の懇切なる援助に依ること、深く感佩する所であります。



鳥 瞰 圖

美良なる教科書を製造し、低廉に圓滿に之を供給するは、我社本來の使命であります。されば今この社屋の新築を機とし、一層社務を整頓し、設備を改善し、努力奮勵、以て其の使命を全うし奉公の誠を竭さんことを期して止まざる次第であります。

昭和十一年六月

東京書籍株式會社

取締役社長 石 川 正 作



役 査 監
晋 合 川



役 査 監
興 信 崎 山



役 査 監
吉 寅 川 石



役 締 取
三 退 樹 三



役 締 取
吉 友 原 榊



役 締 取
丞 之 源 上 井



役 締 取
七 甚 黒 目



役 締 取 務 常
造 菅 邊 渡



長 社 役 締 取
作 正 川 石

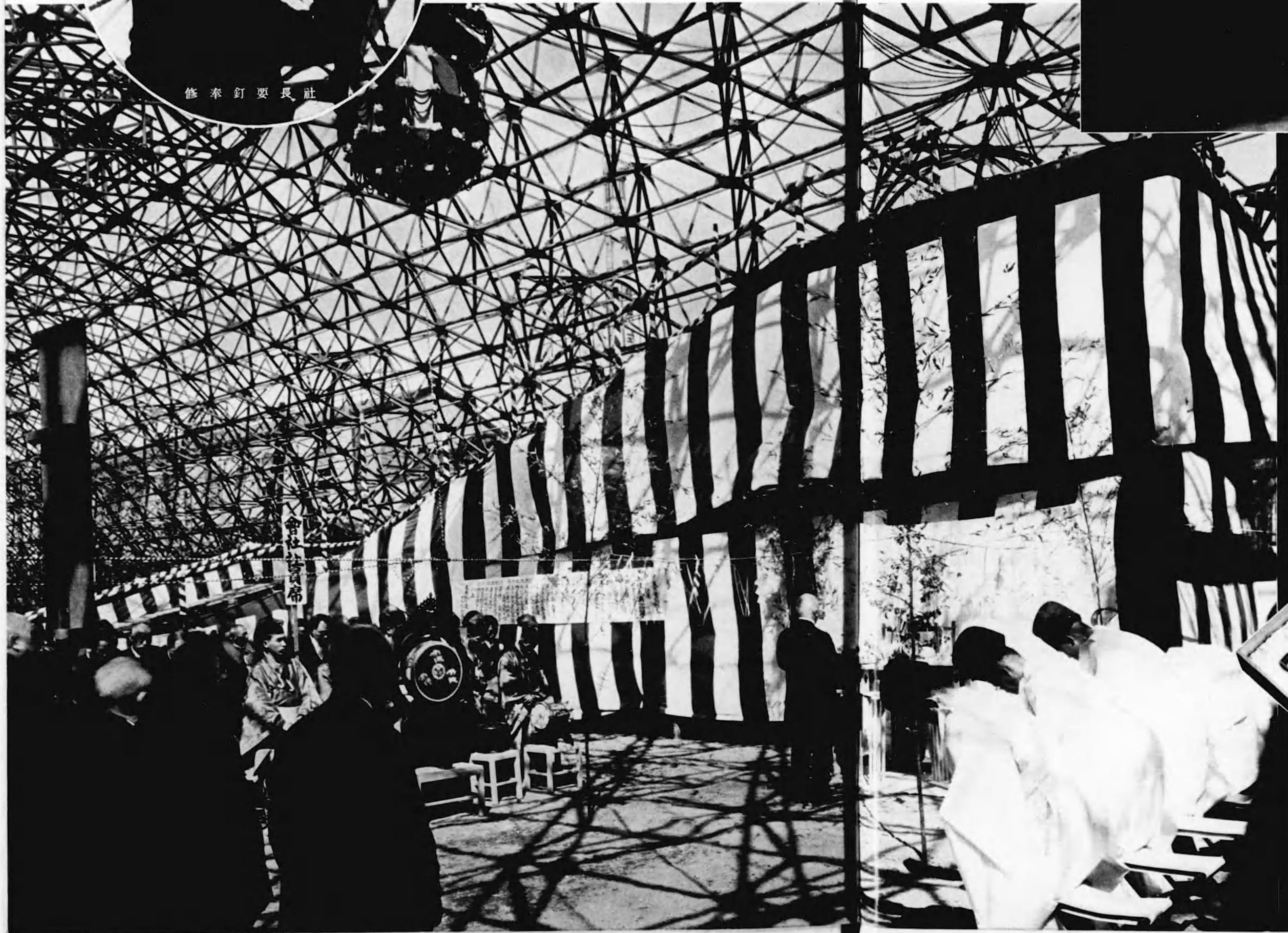


社 長 要 釘 奉 修

上 棟 式

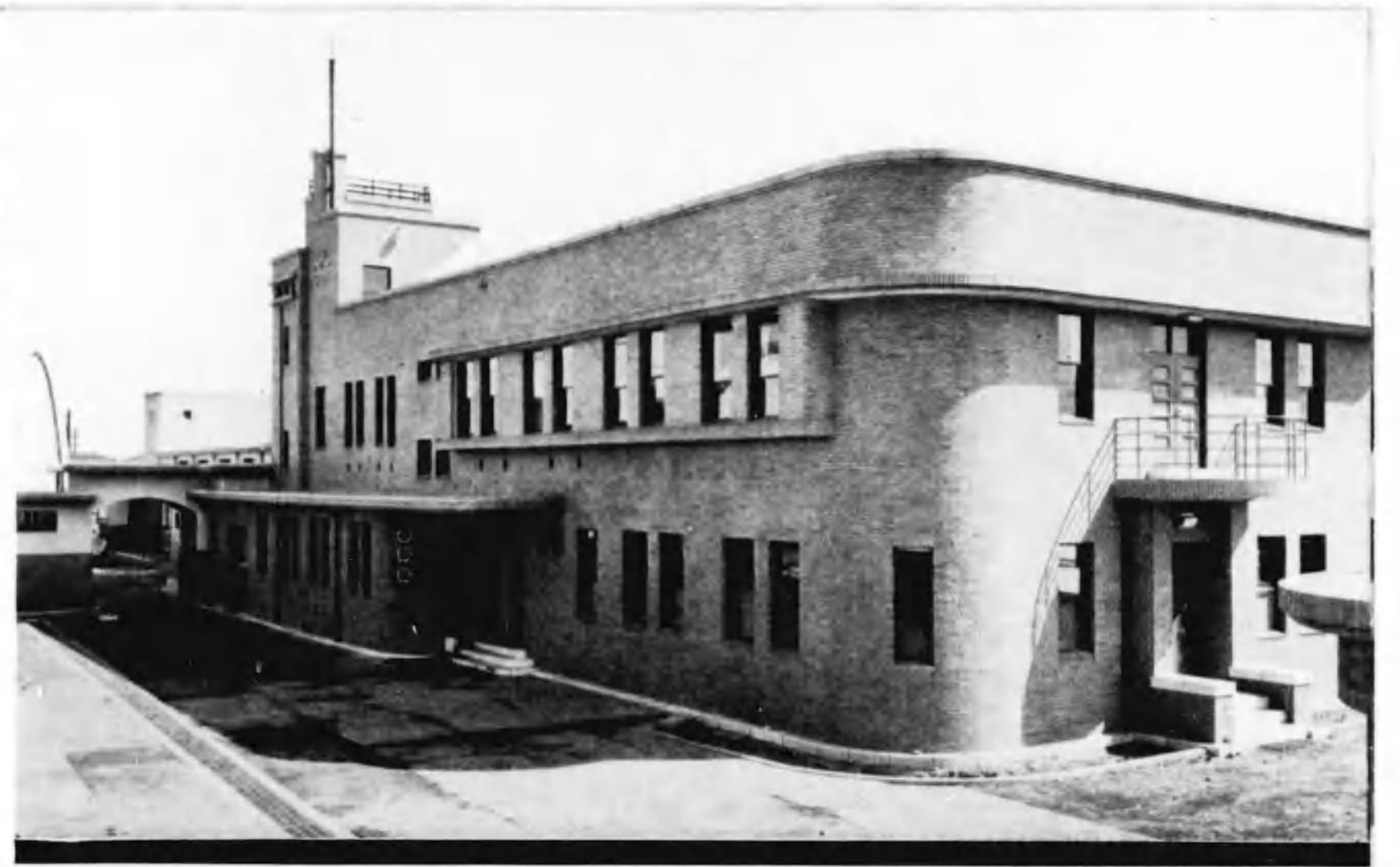


地 鎮 祭





工場



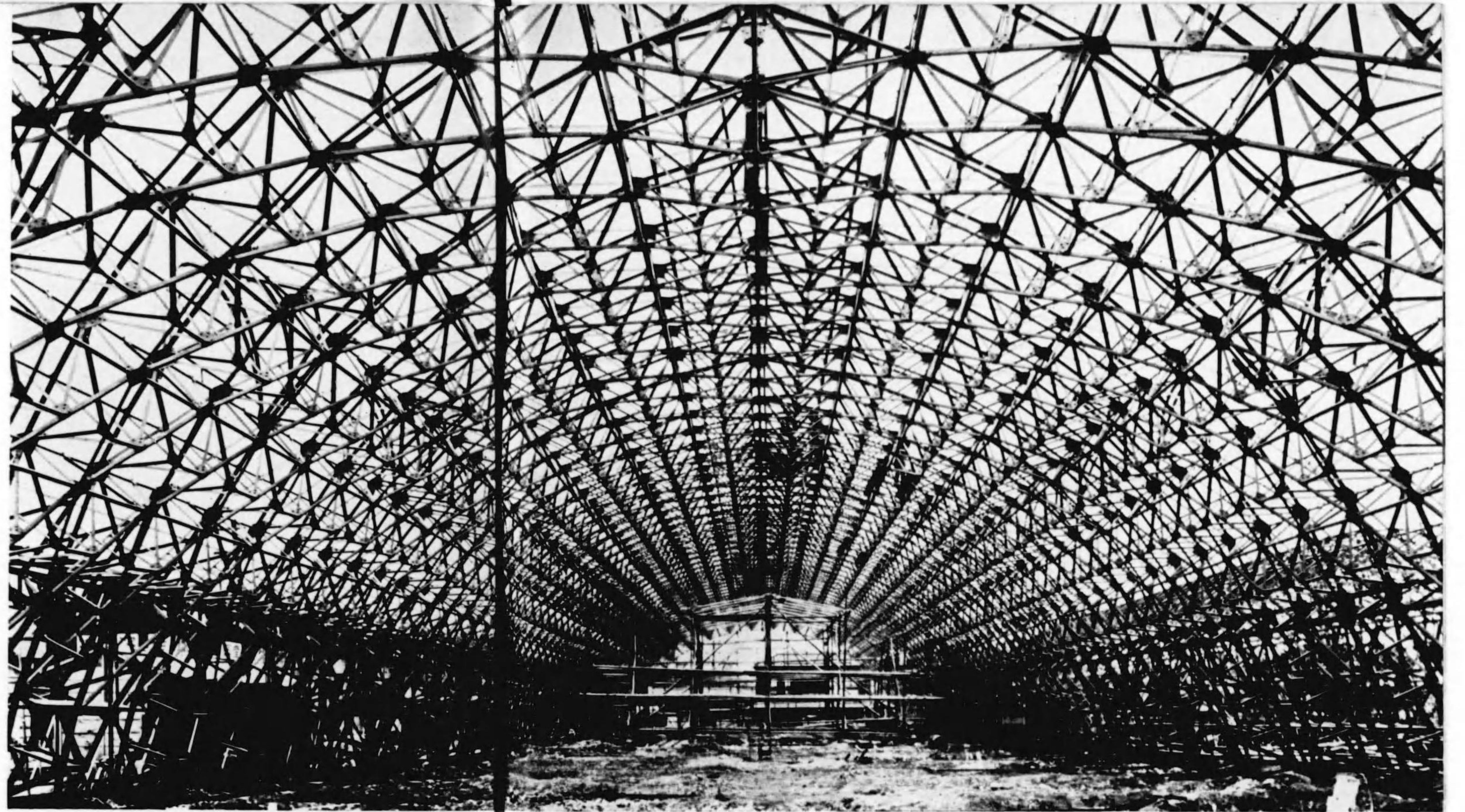
事務所

正門





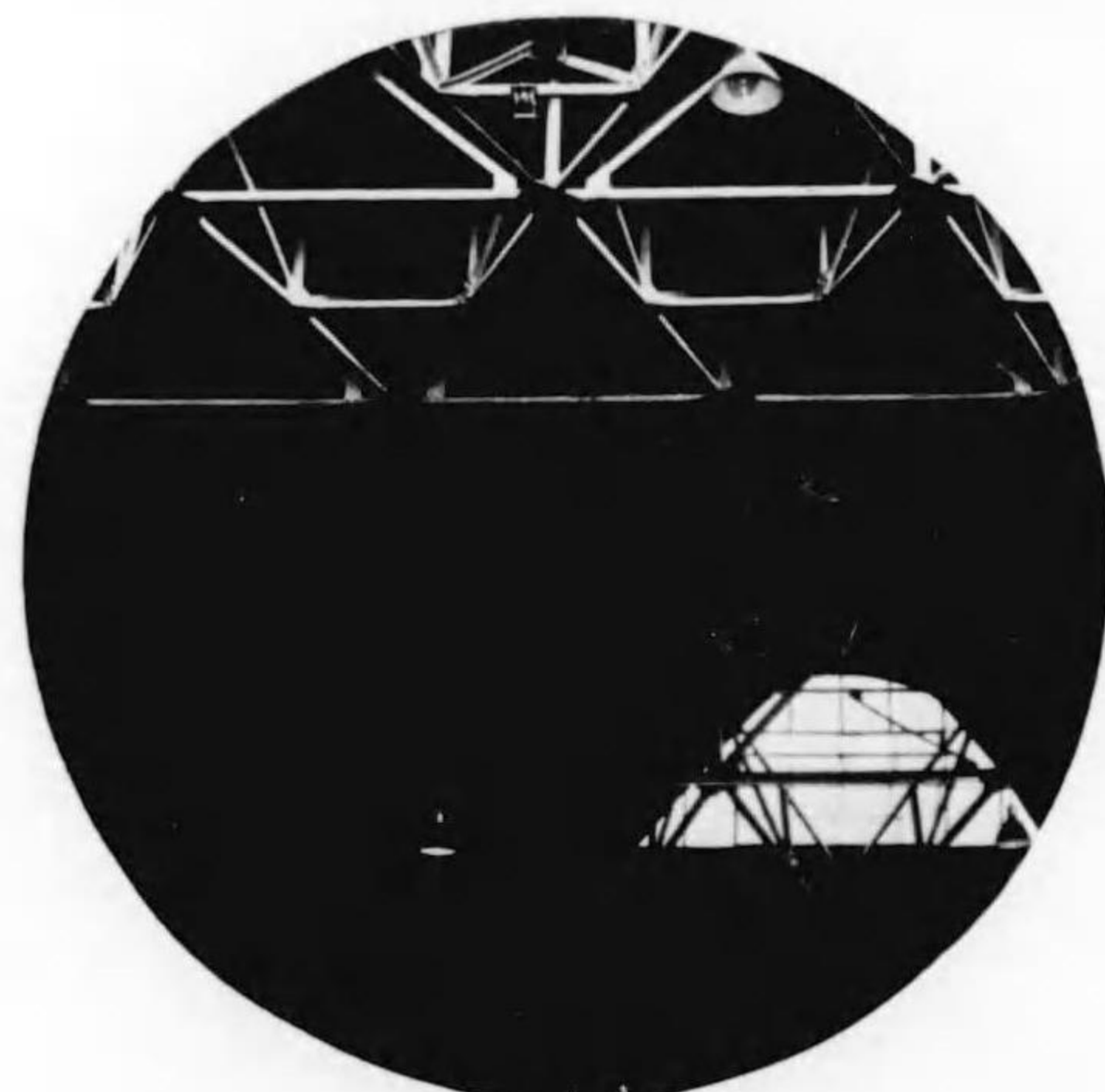
業作立組骨鐵



骨鐵場工



細詳骨鐵



上仕部内



上仕部外



關玄場工

クーオウルリグ間廣



臺望展所務事



口常非所務事



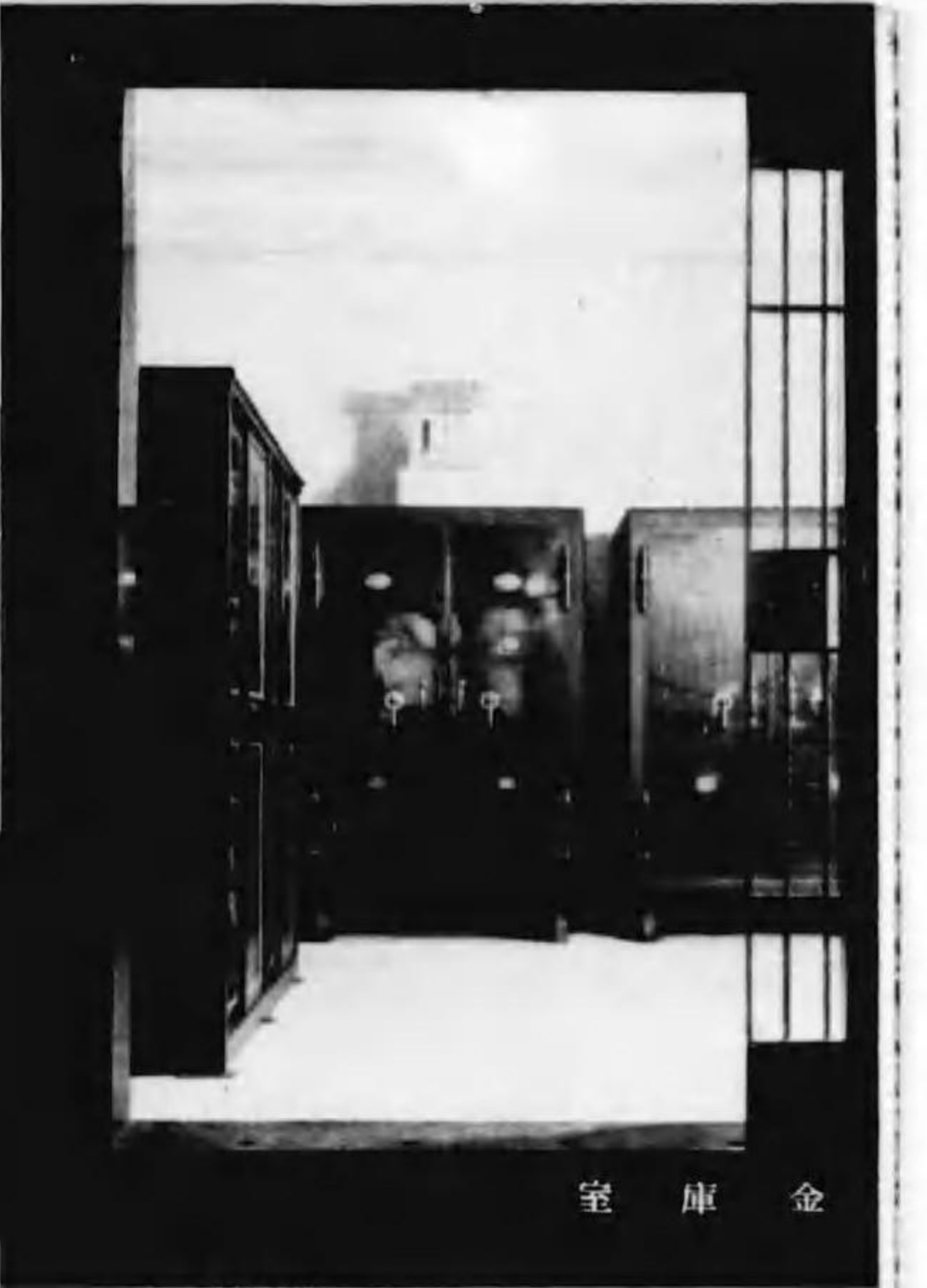
關玄所務事

井天關玄



口入所務事

事務室



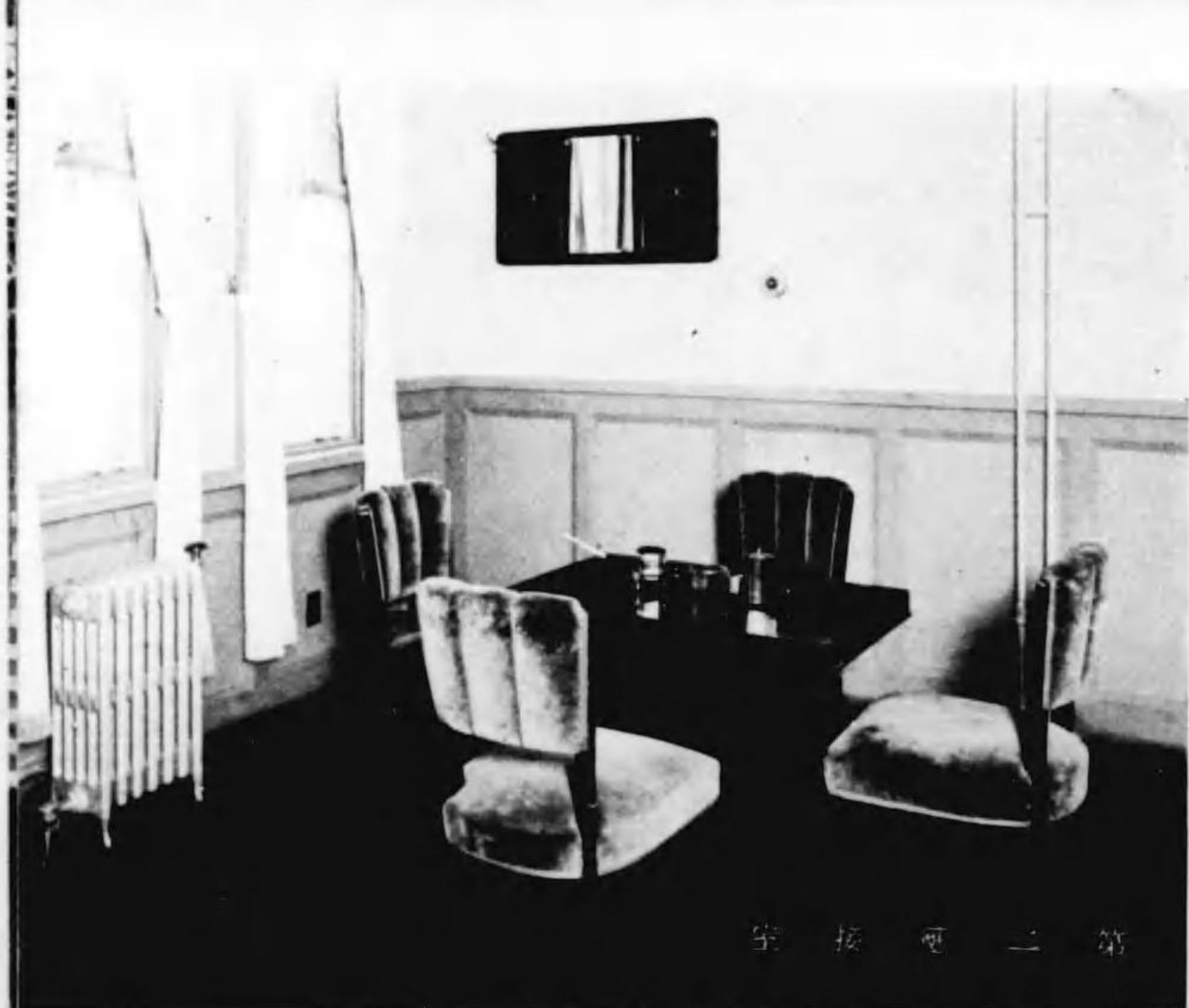
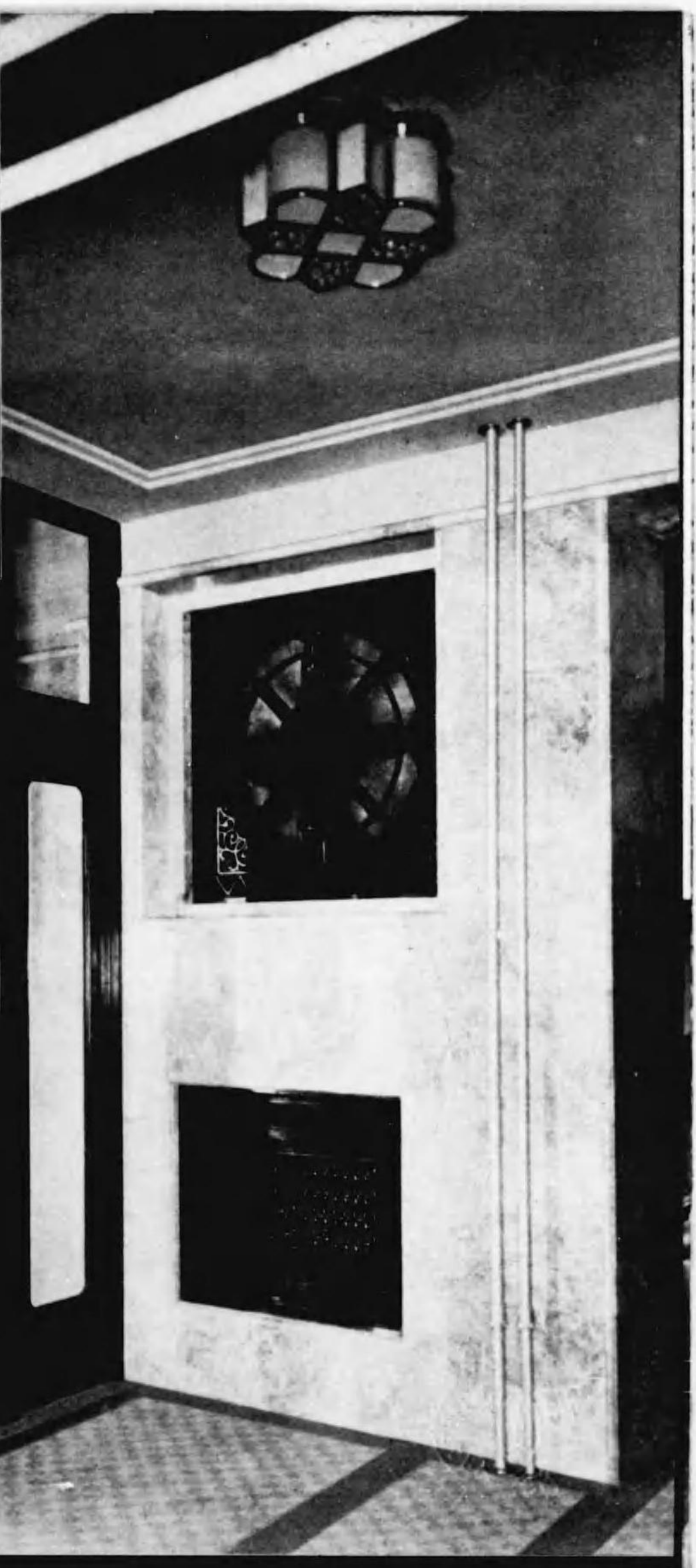
金庫室



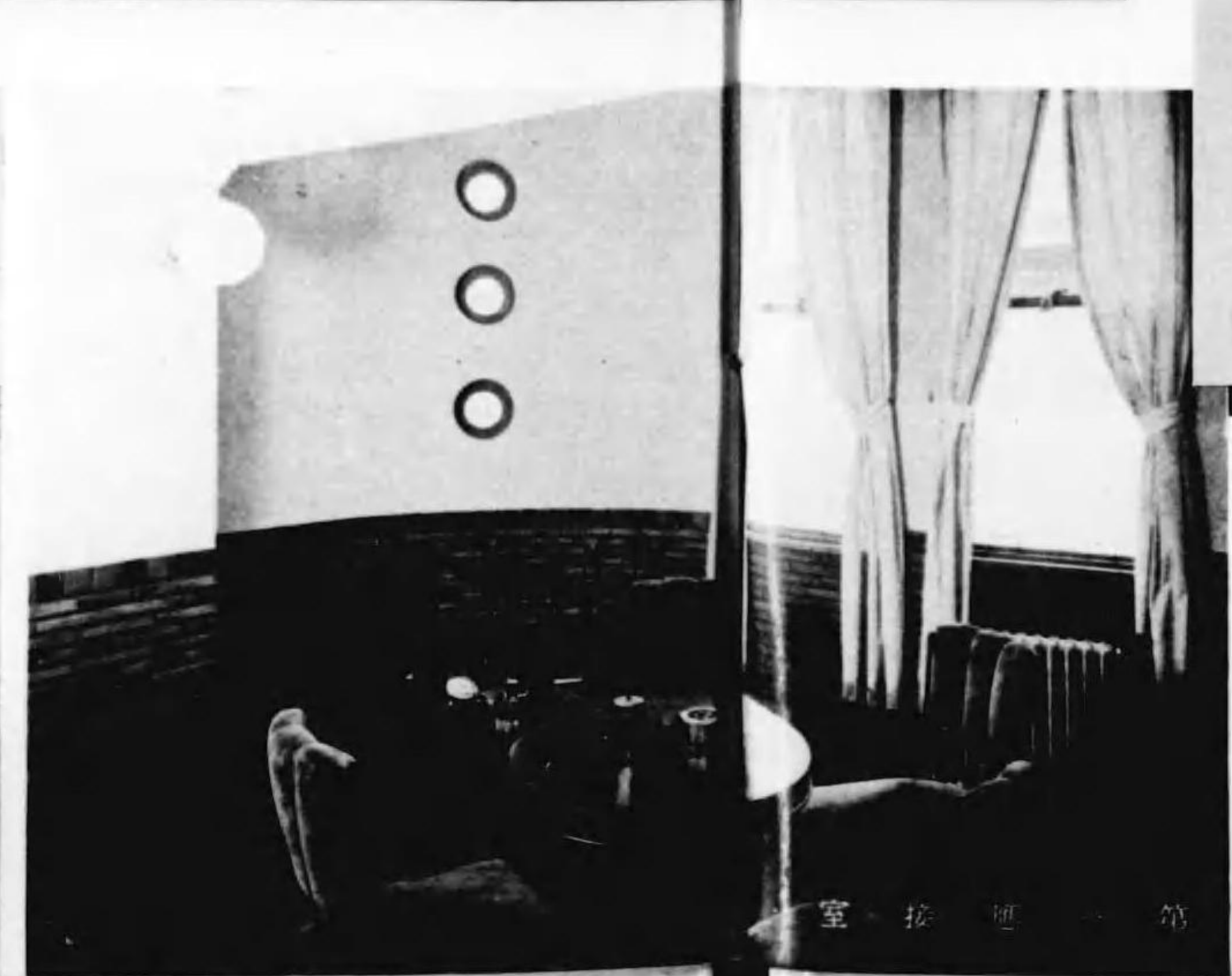
図書室



事務所階段



第一電接室



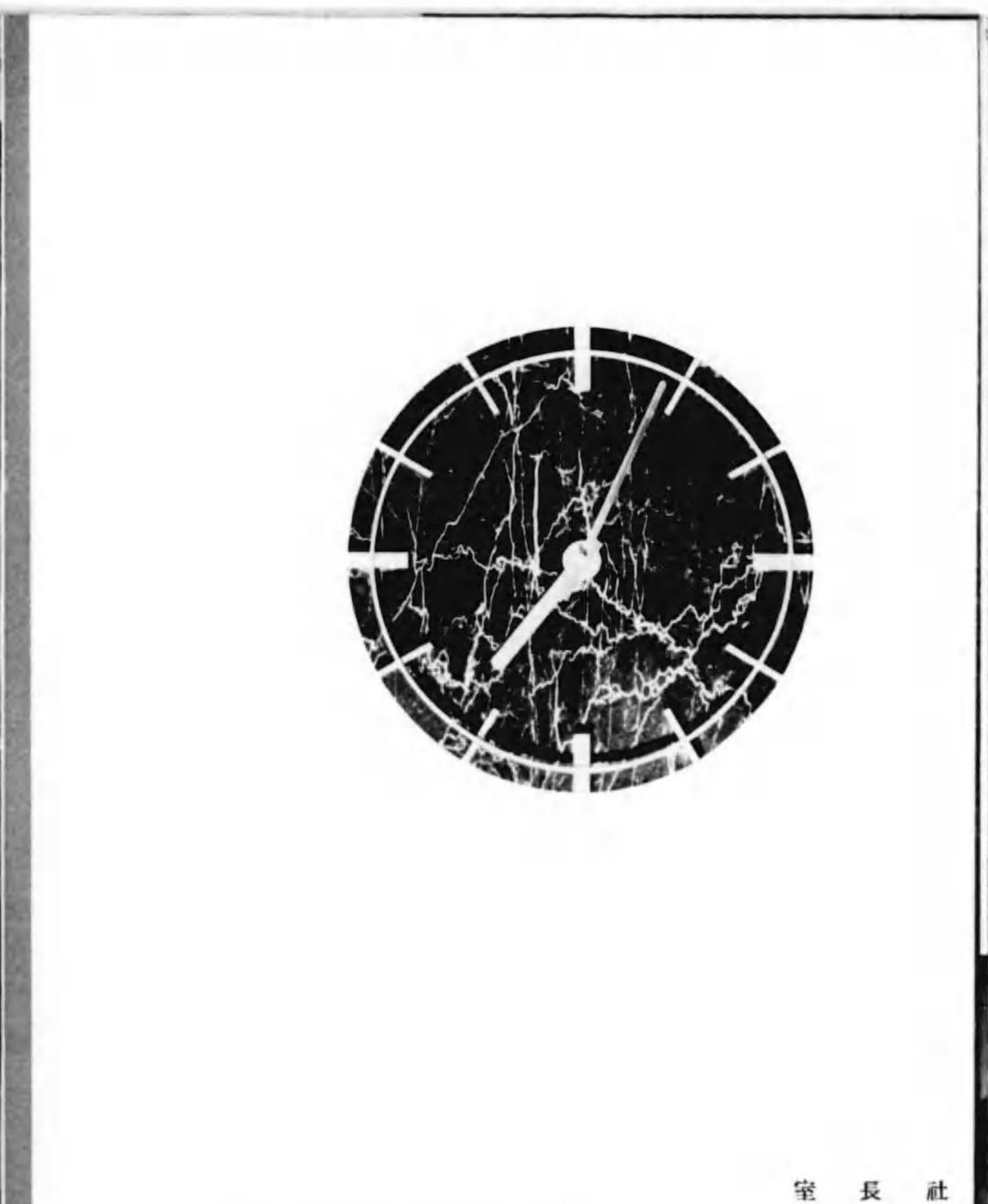
第一電接室



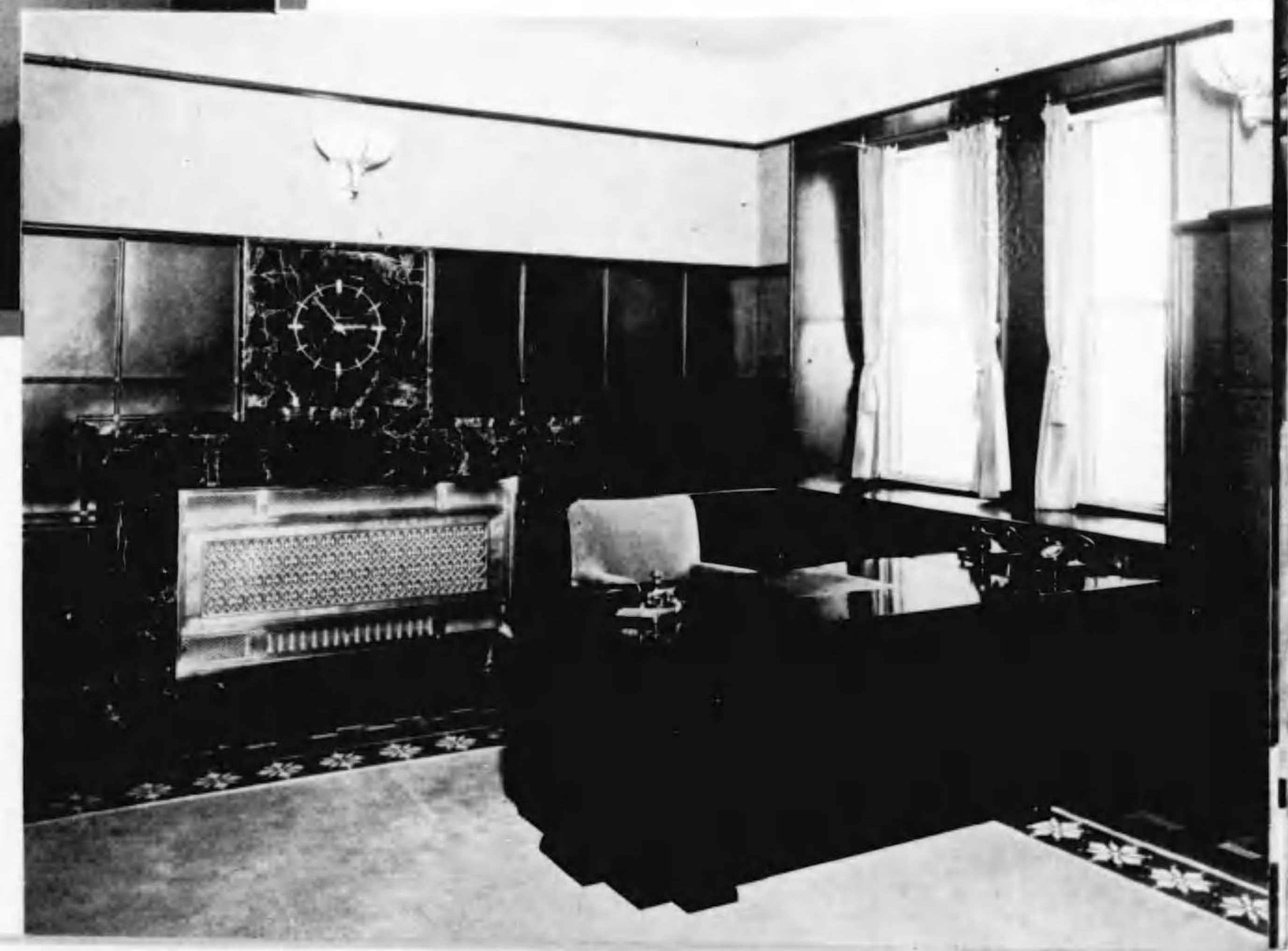
事務所廣間



室 賓 來



室 長 社





社員外套室

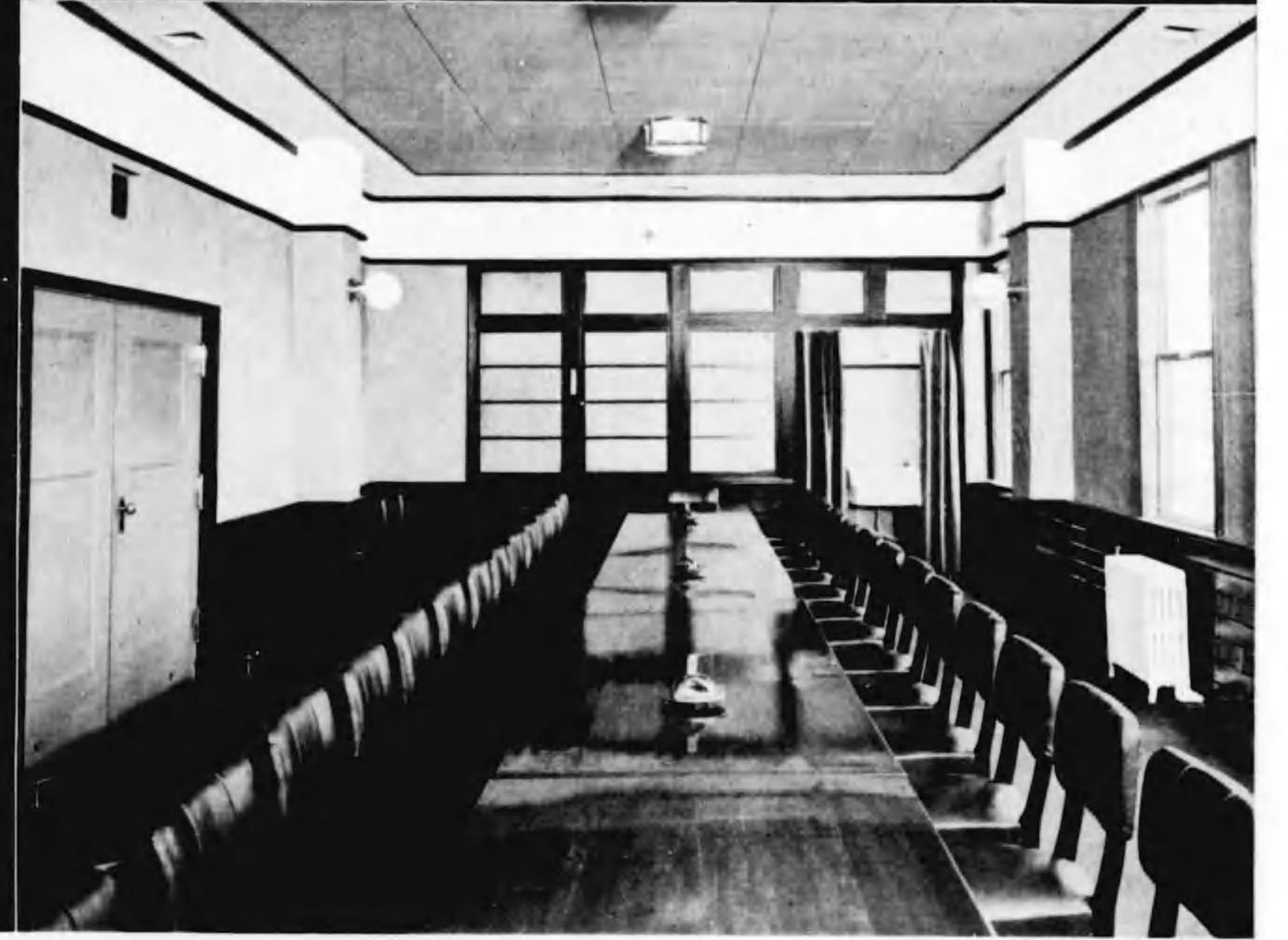


調理室

會議室



社員食堂





天井



裁縫室一部



外廊下

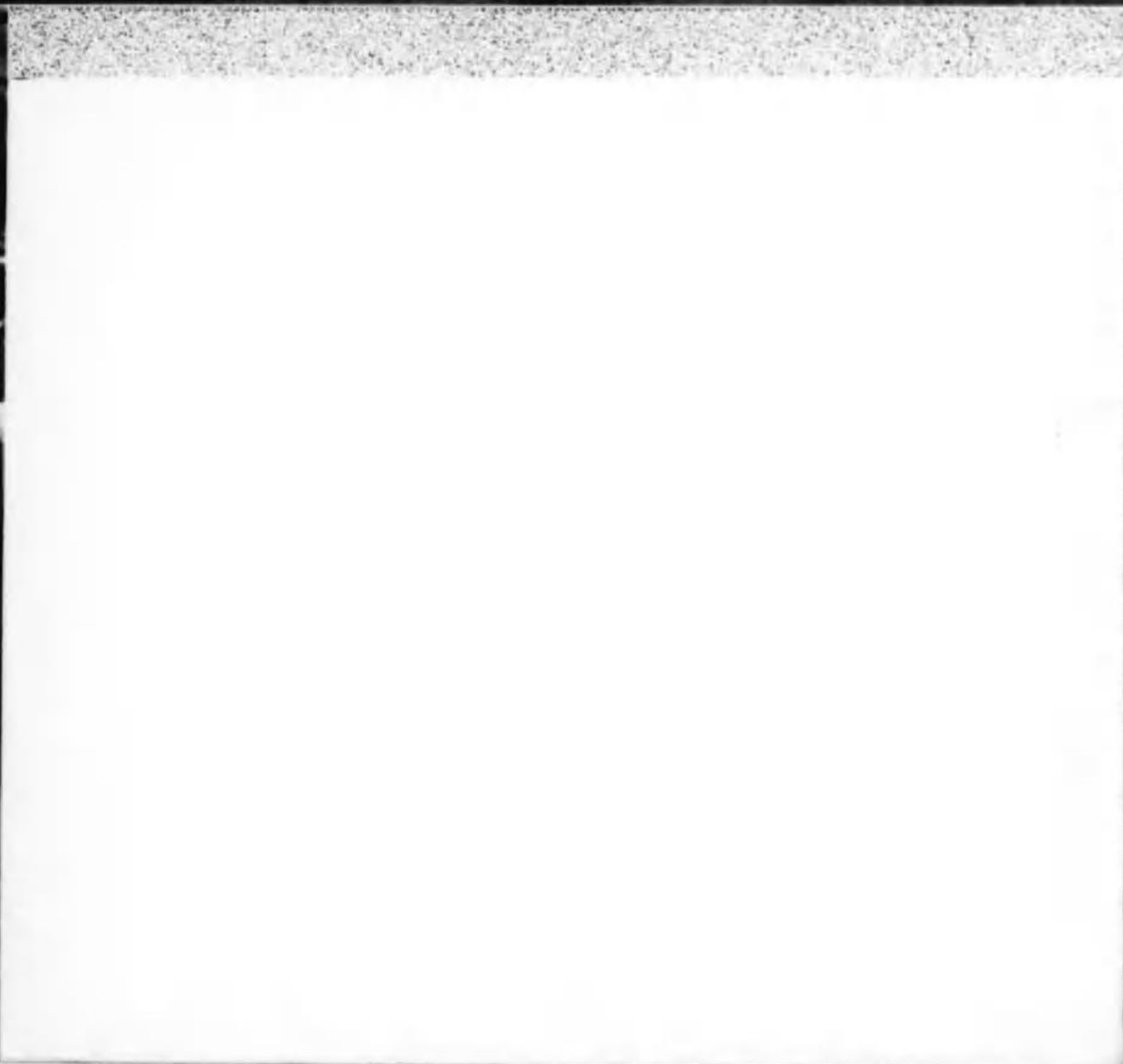


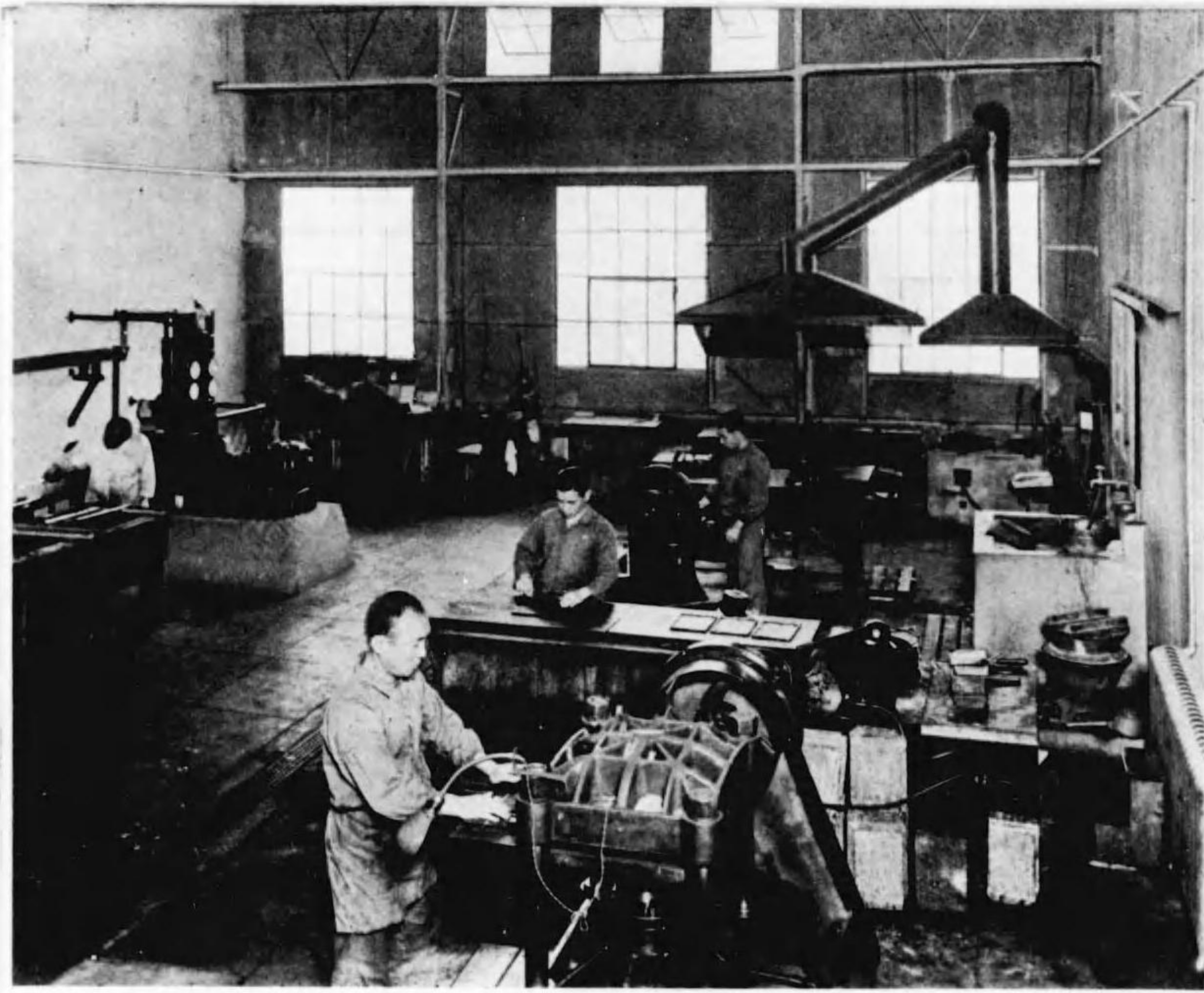
職工食堂兼講堂



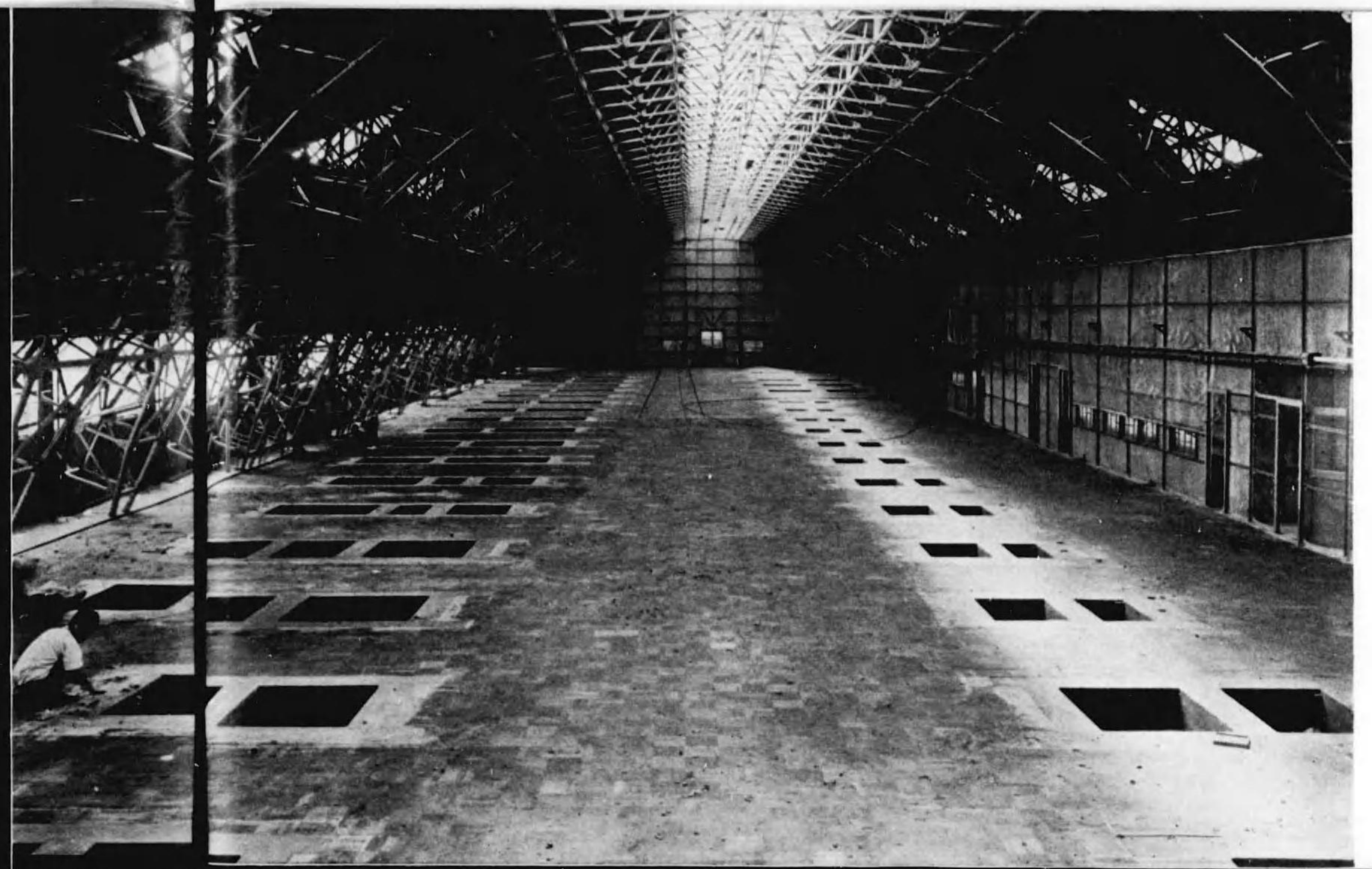
職工更衣室一部

場工刷印





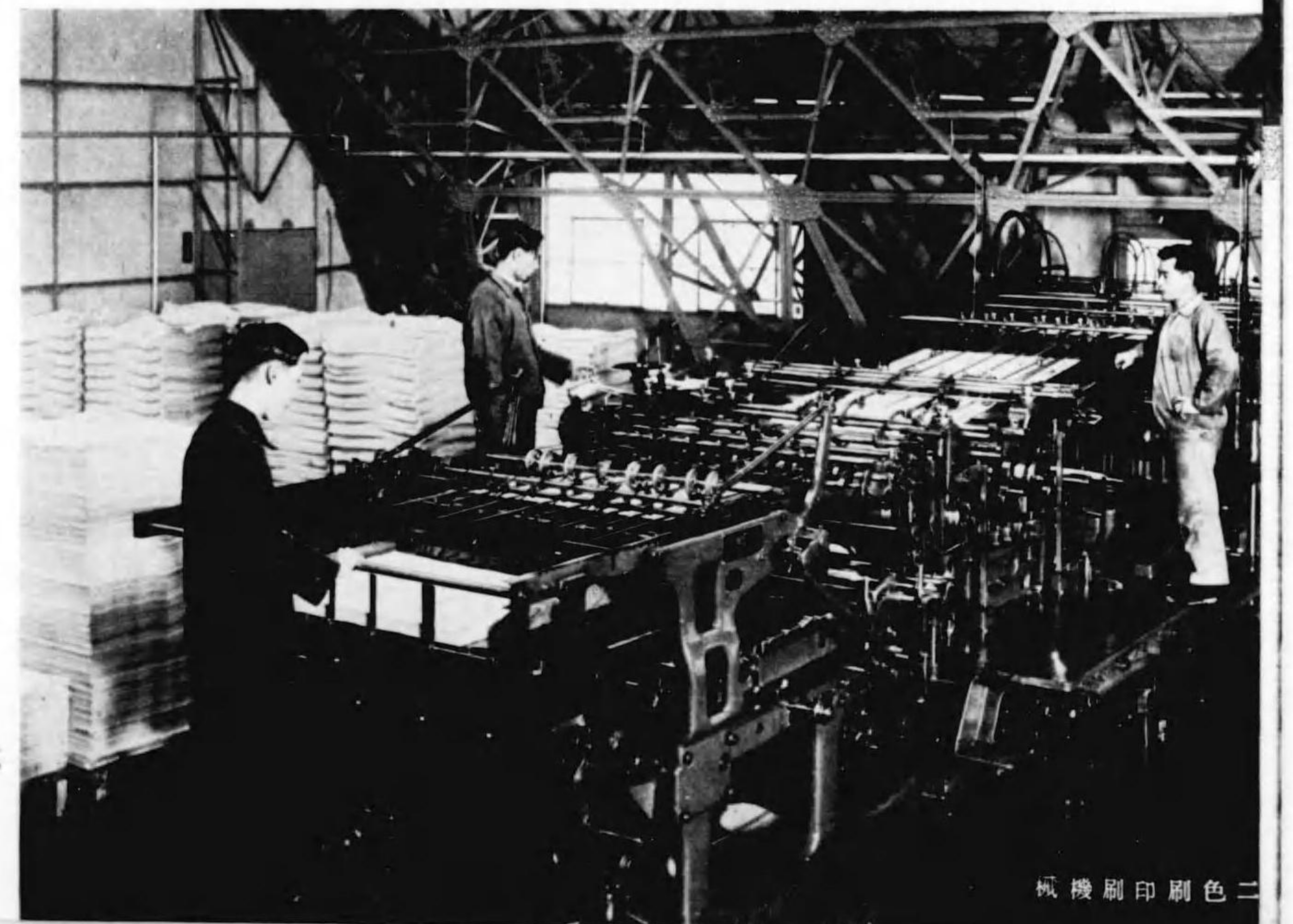
製版室



印刷機械基礎



フルーナー室一部



二色印刷機械

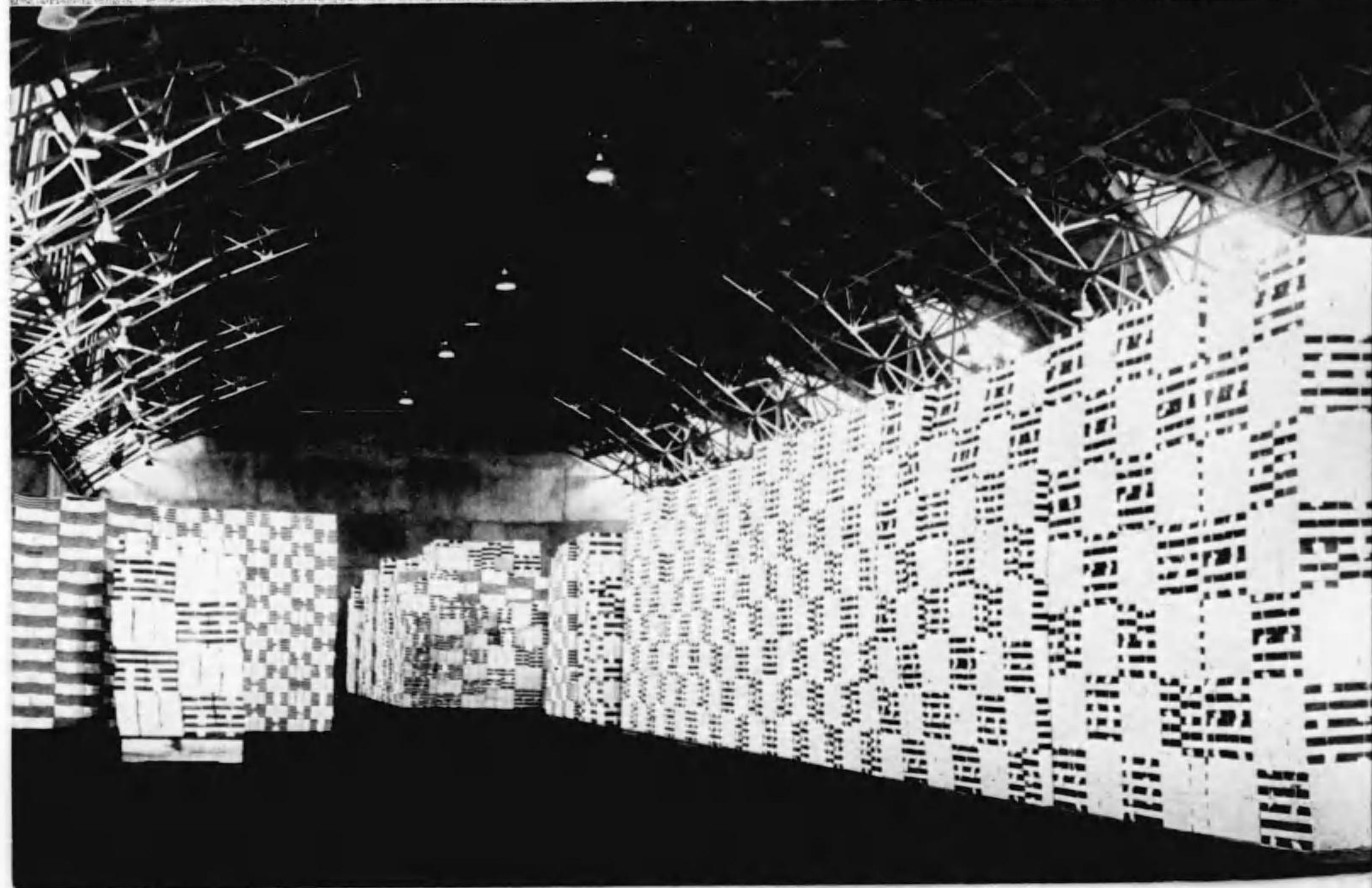


職工洗面所

庫倉品製

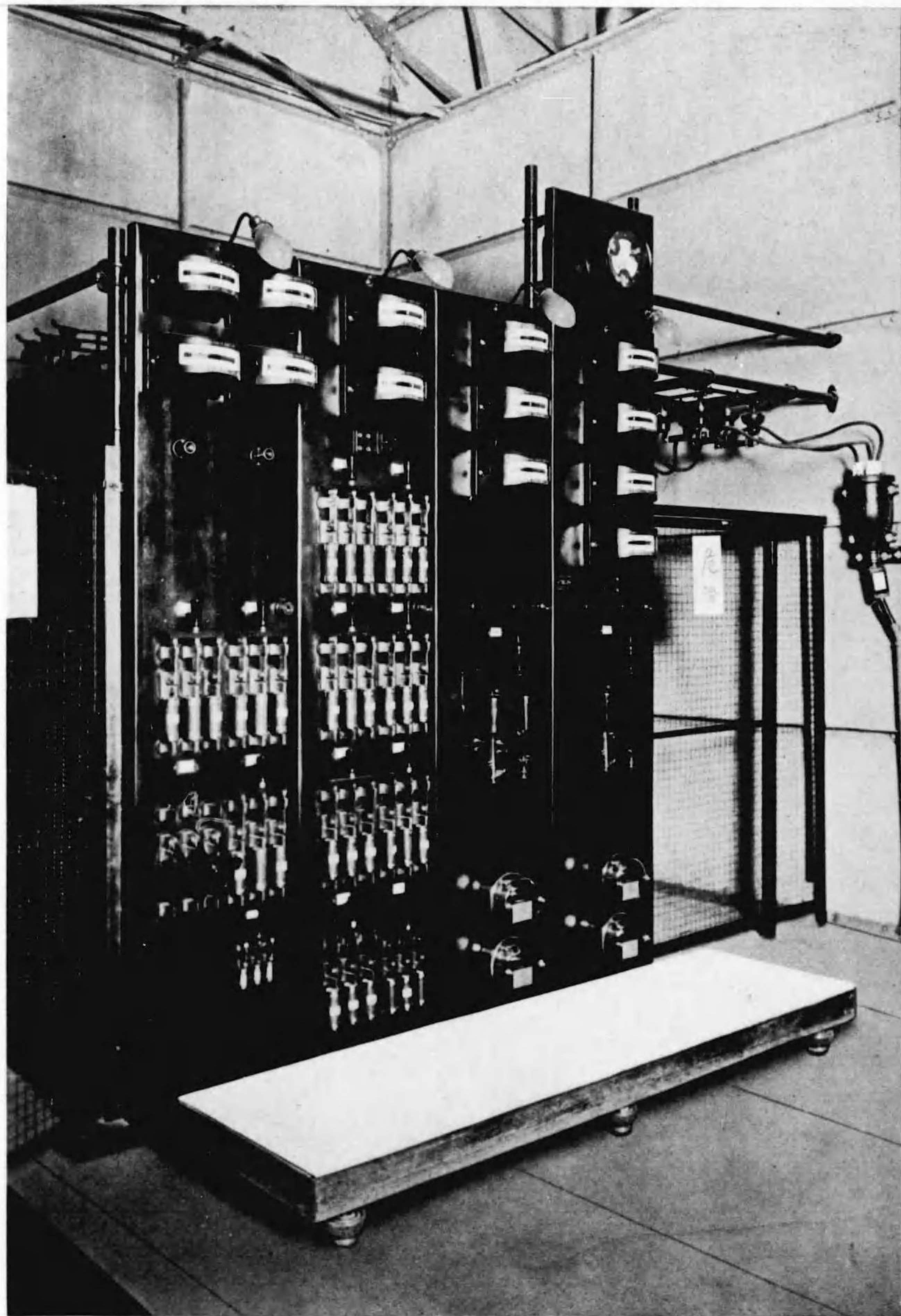


場工本製

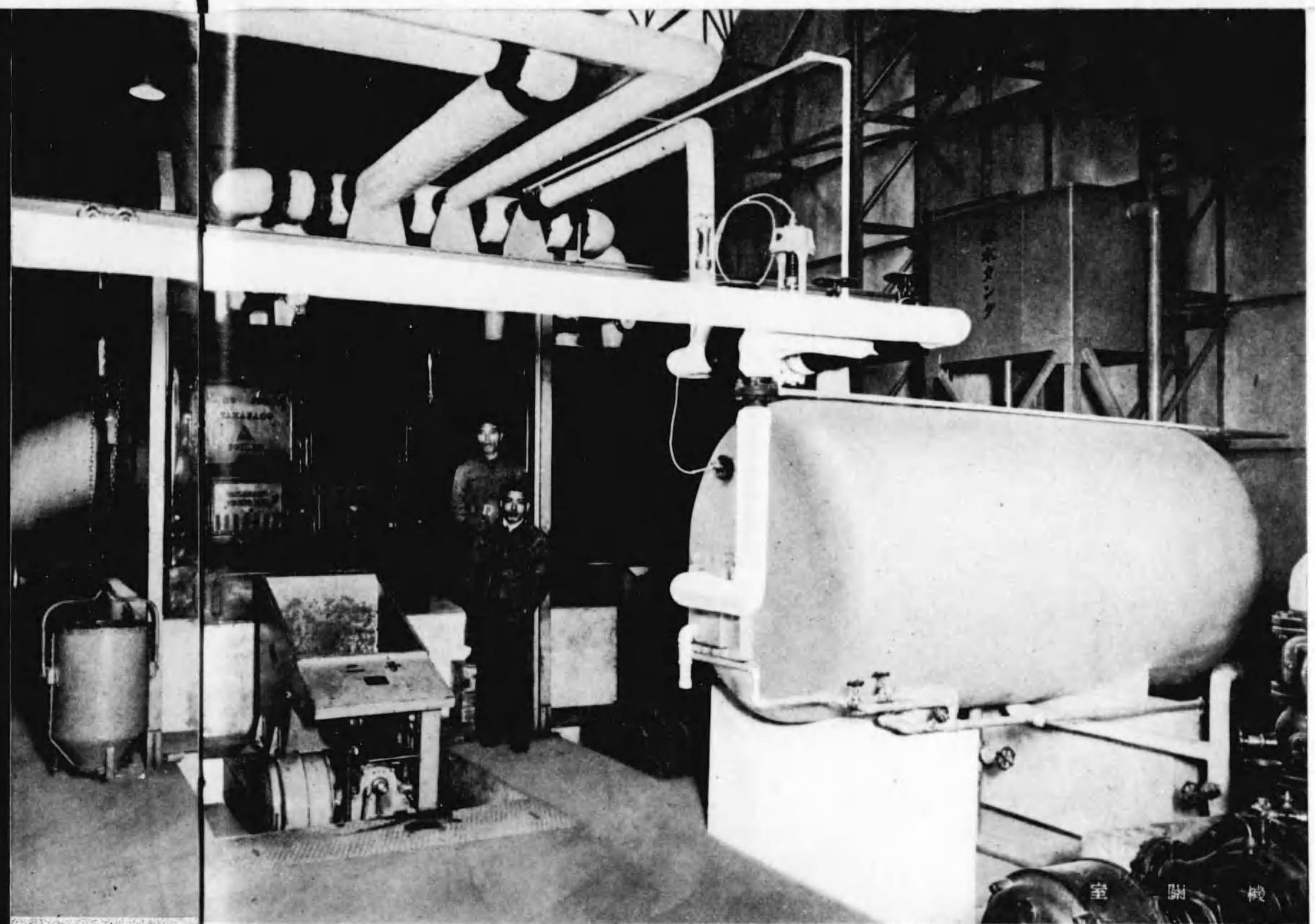


職工便所





室 氣 電



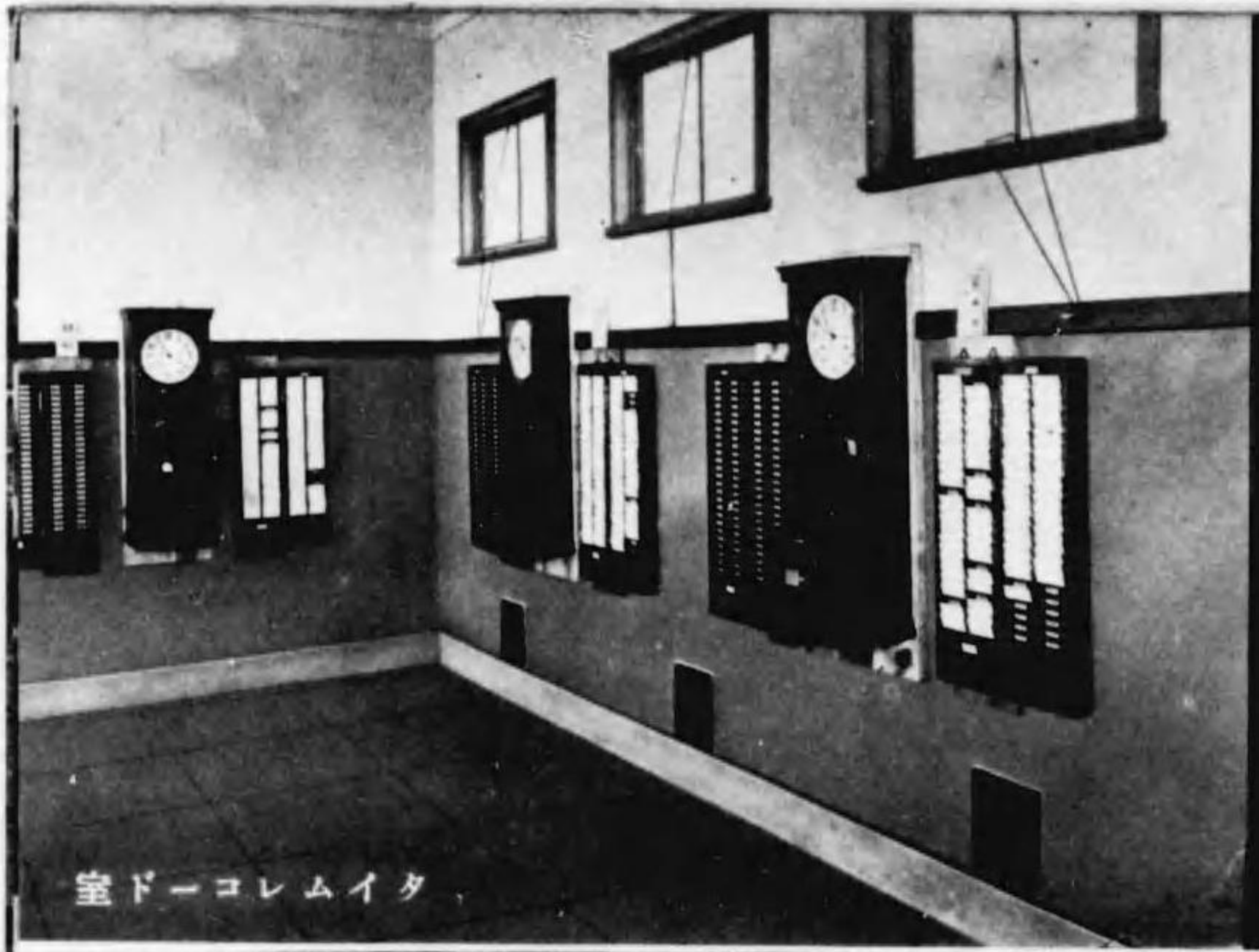
室 關 機



全 火 消

場 置 傘

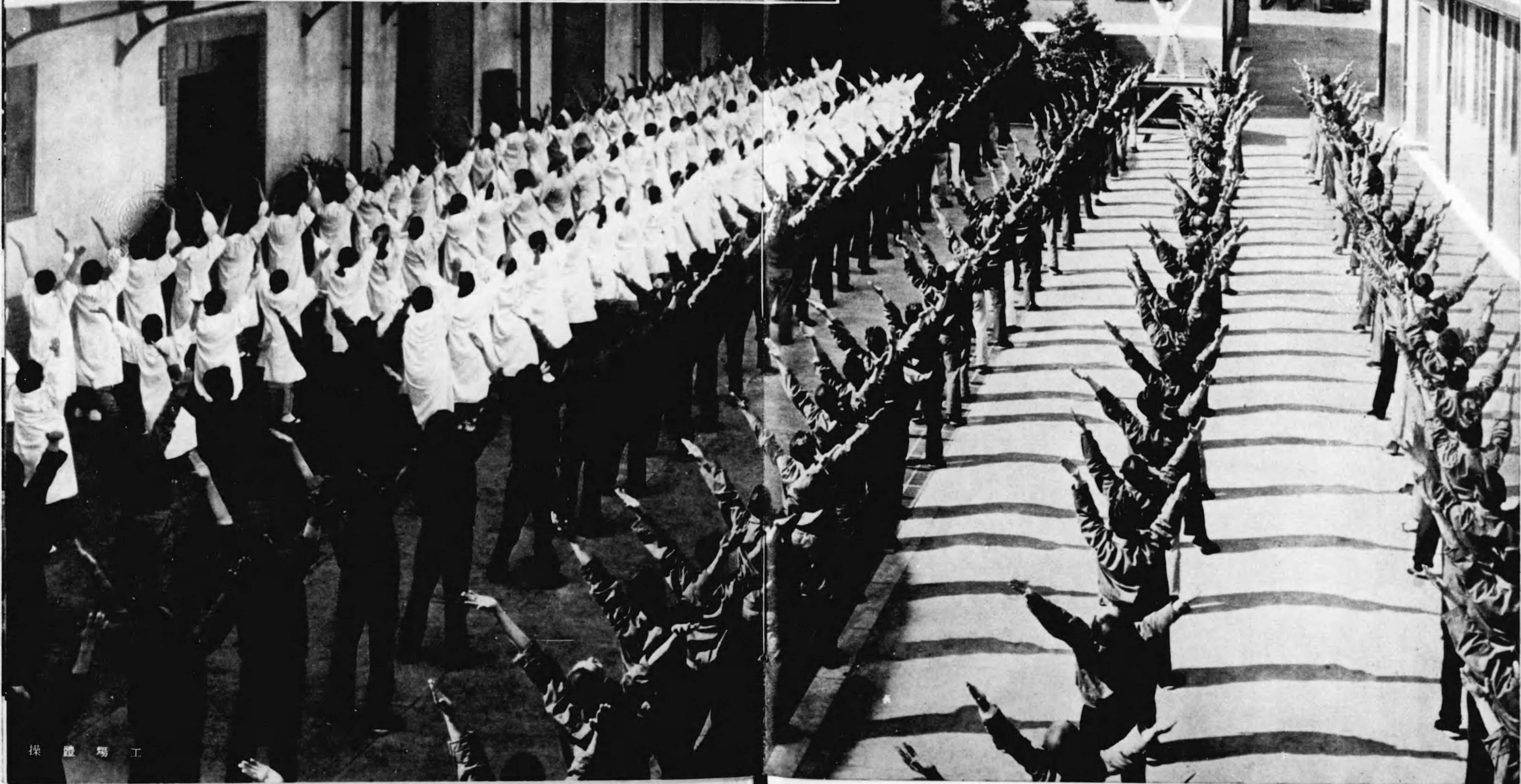
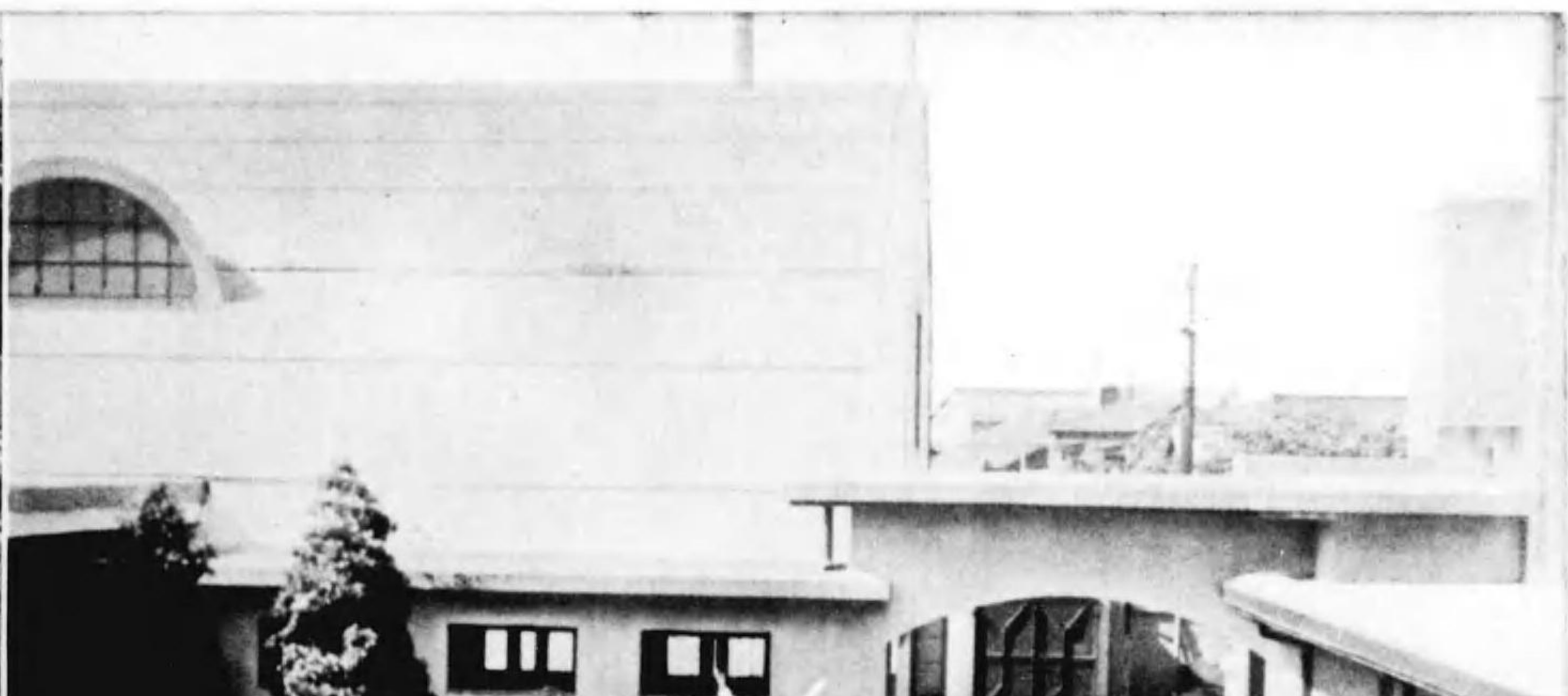
場 置 車 轉 自



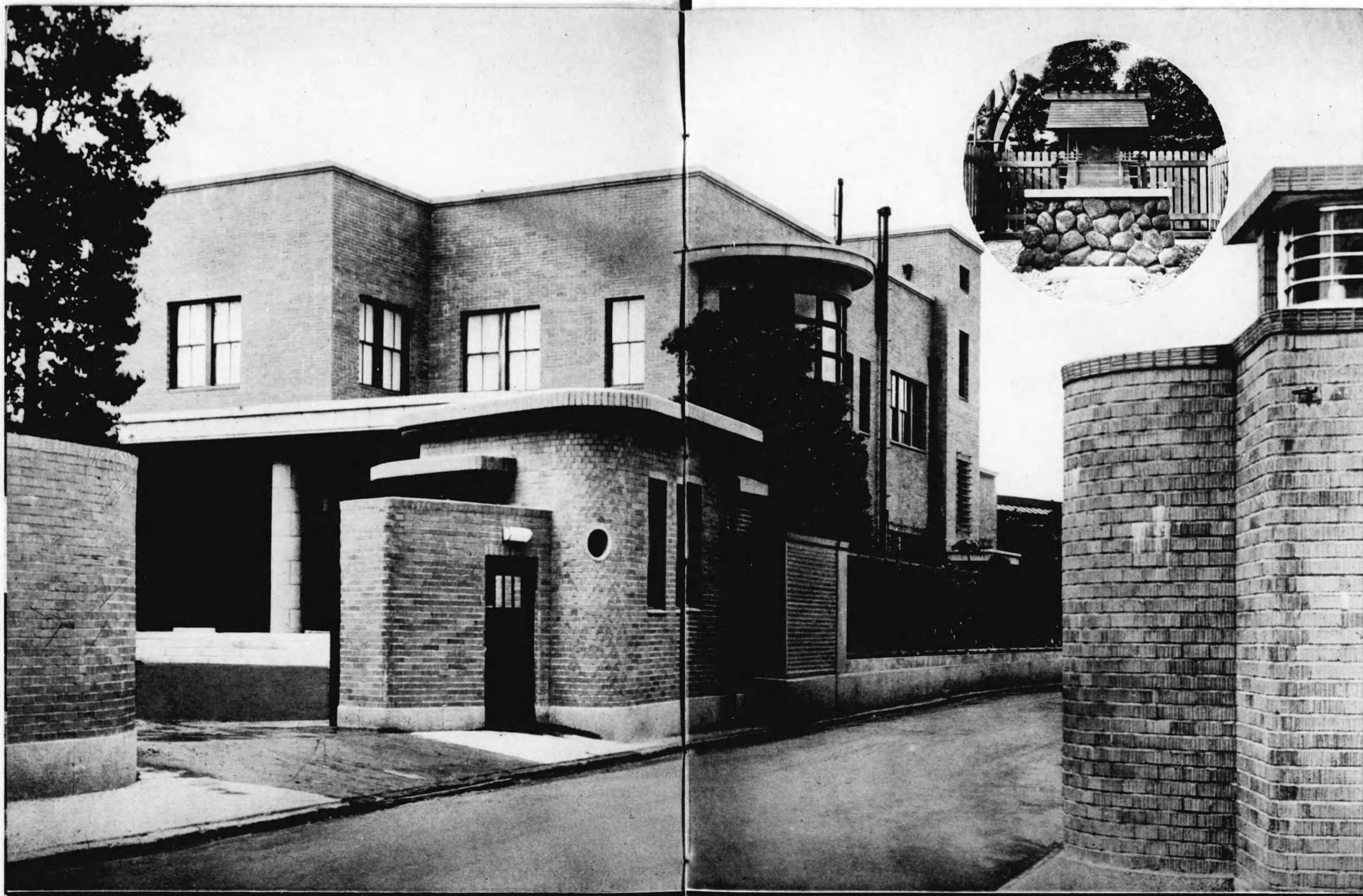
室下ーコレムイタ



室衛守



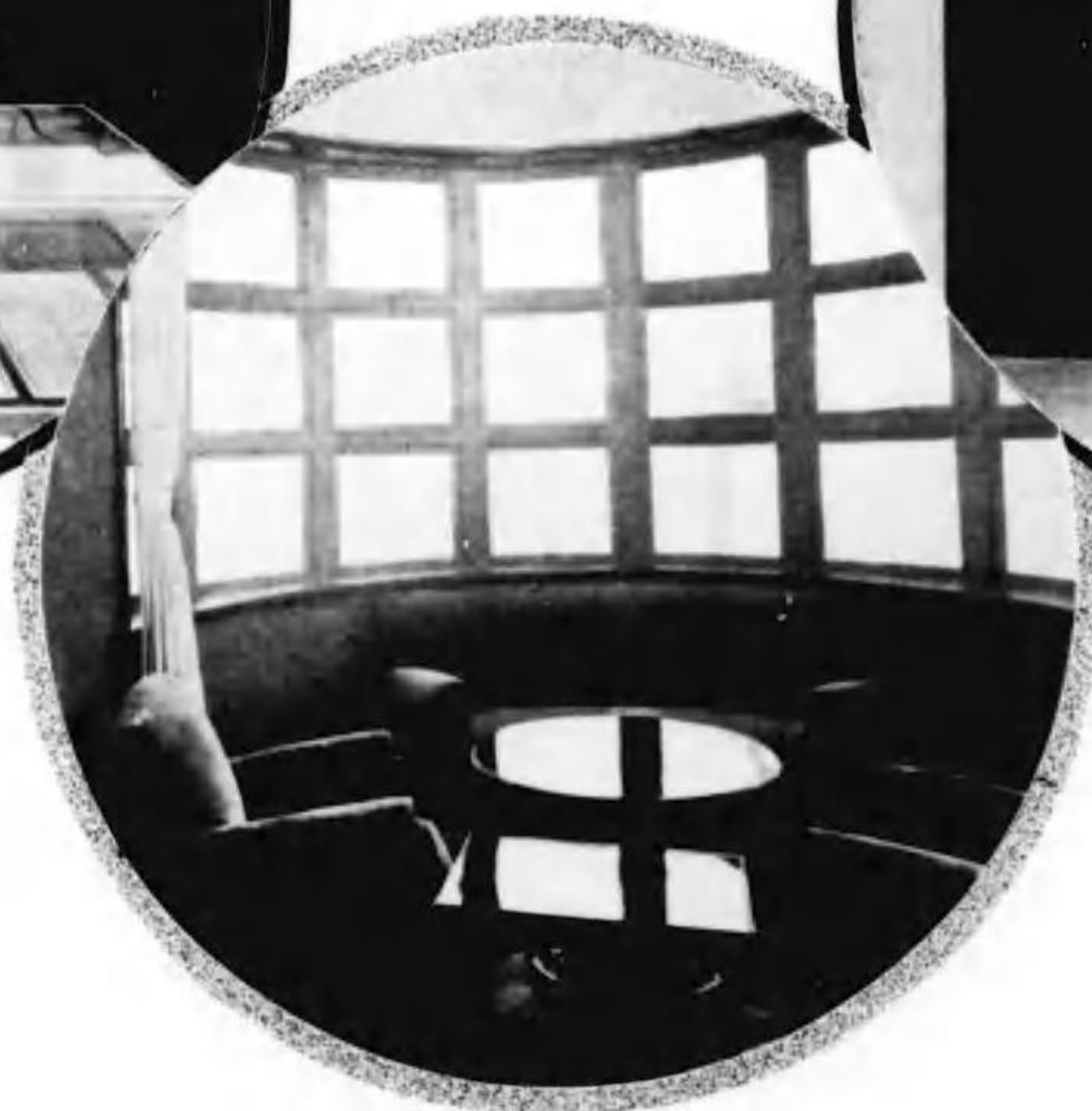
操體場工



社神内構と庫文書東



室念記



室話談



部ノ園庭



庫書



段階間廣



室覽閱別特

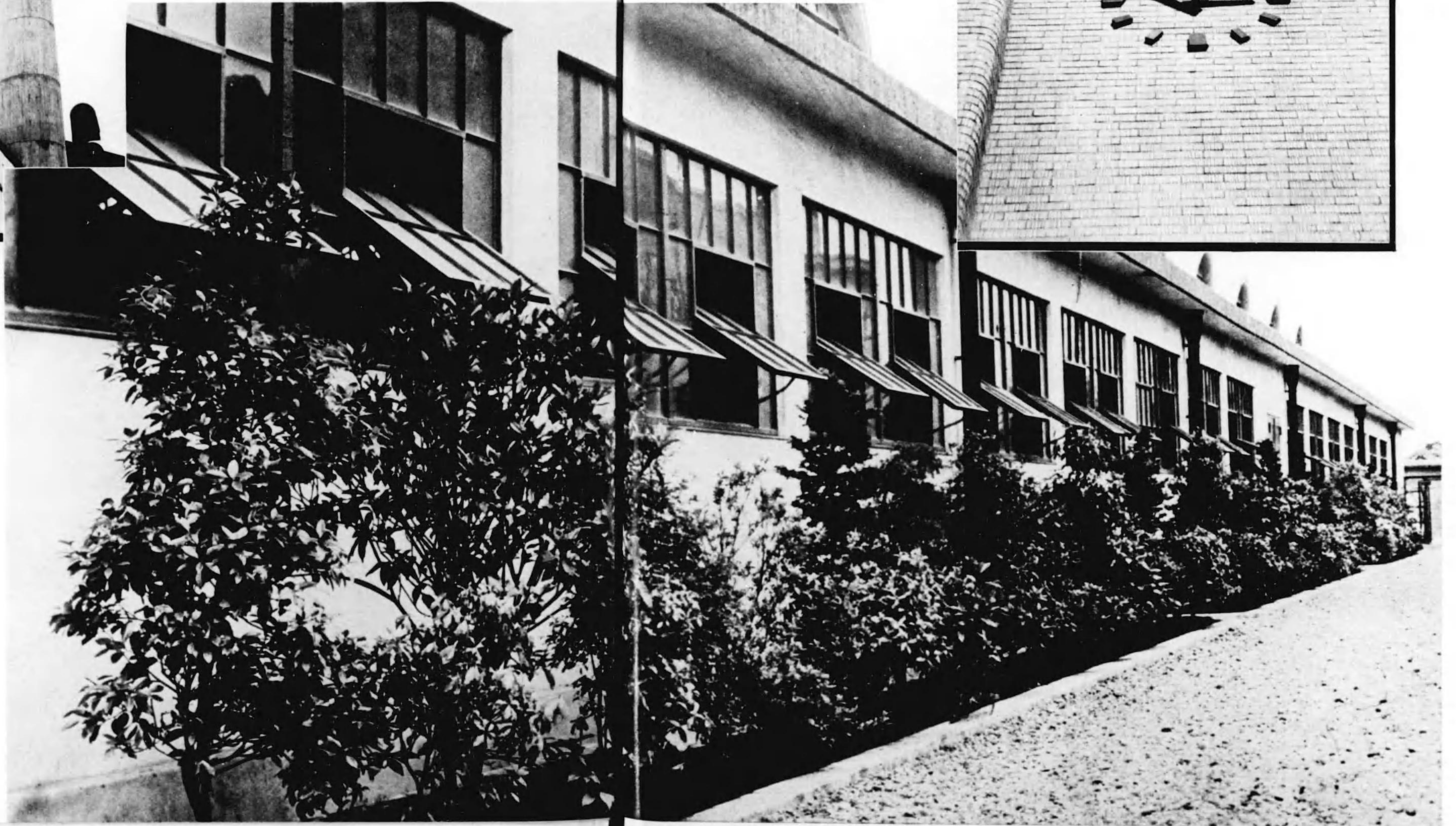


室覽閱

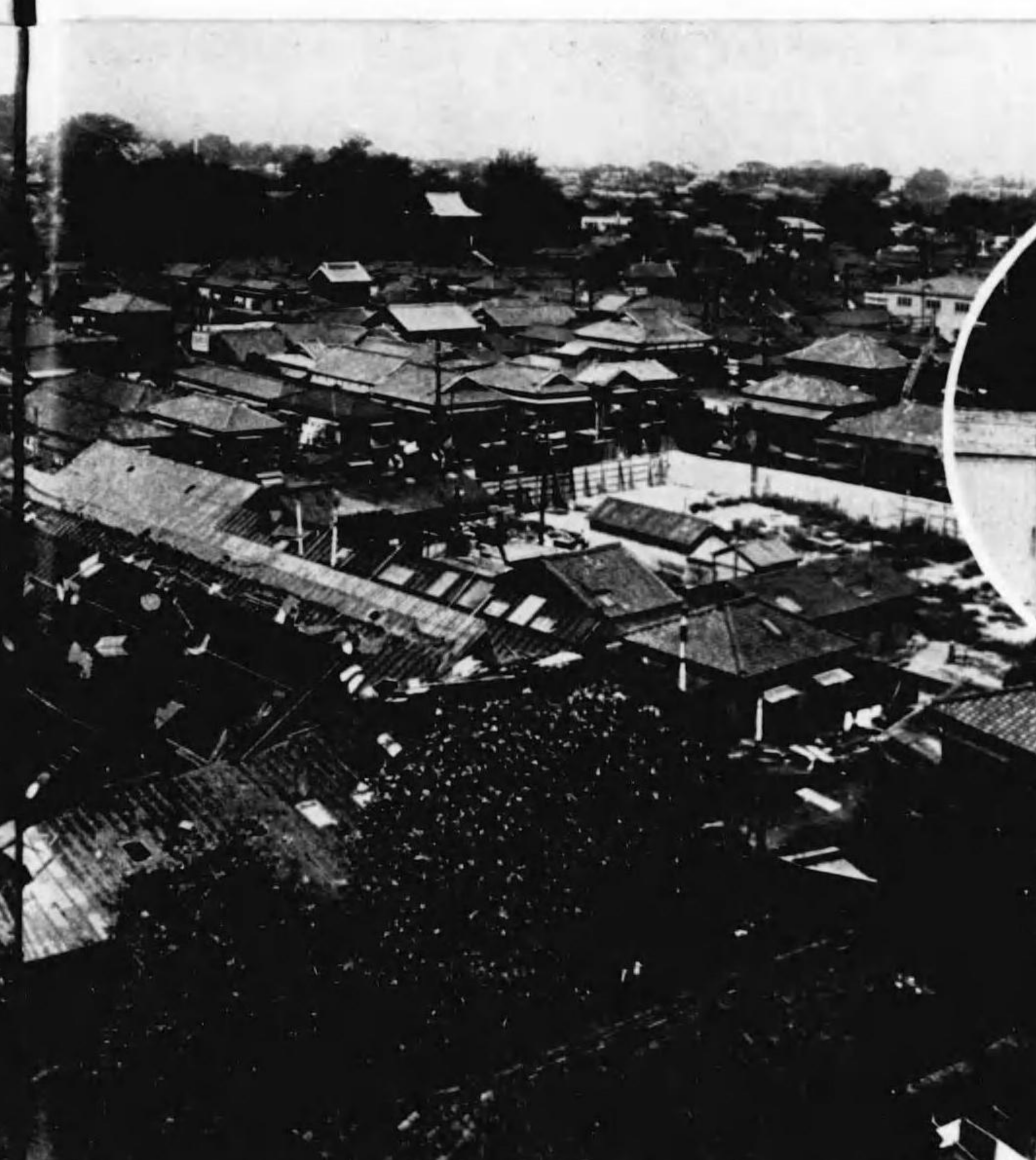


突 煙 場 工

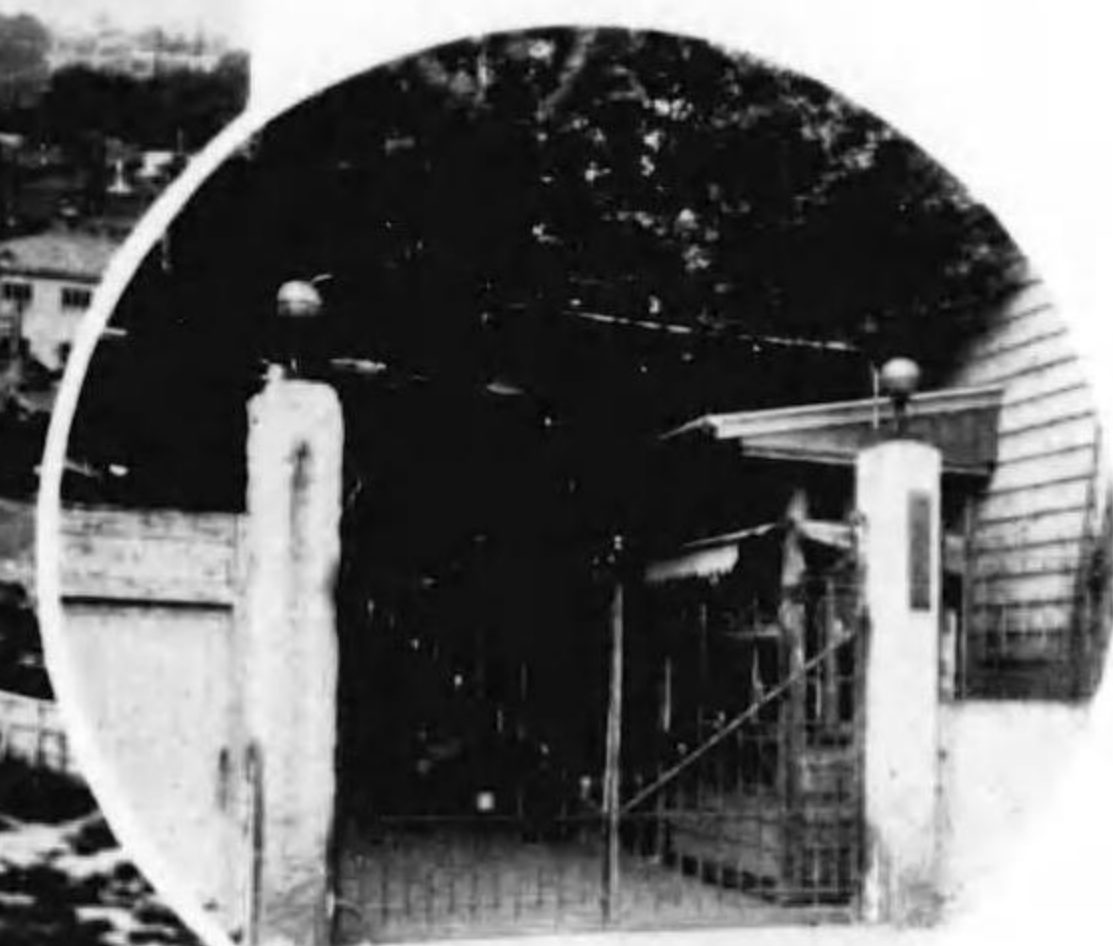
部一ノ込植場工



塔 屋 (大時計國旗)



屋社舊川石小



門 正

景 全



部一ノ場工本製



部一ノ場工刷印



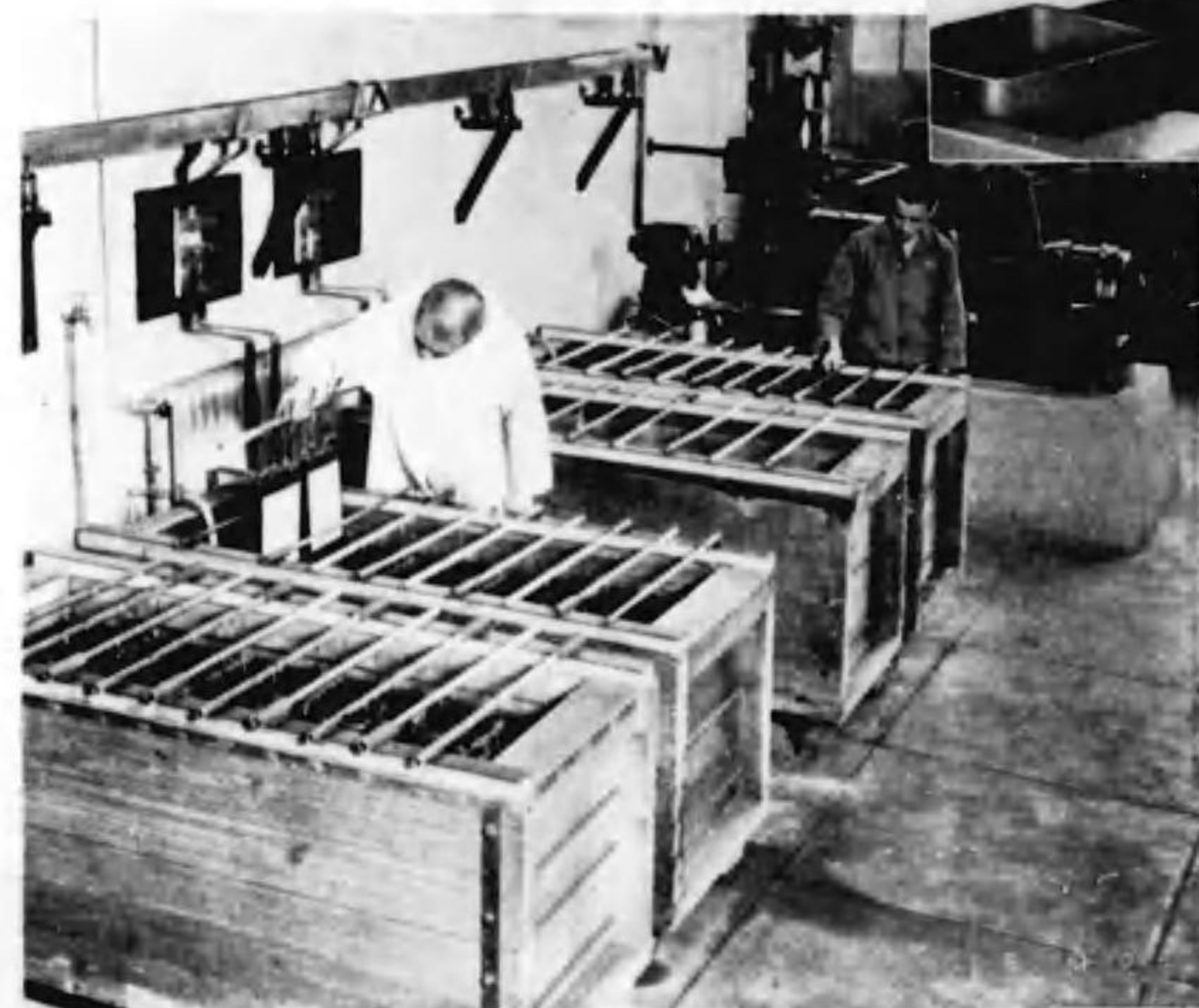
部一ノ庫倉所務事



部一ノ場工



る作を型蠟の版氣電



槽電の版

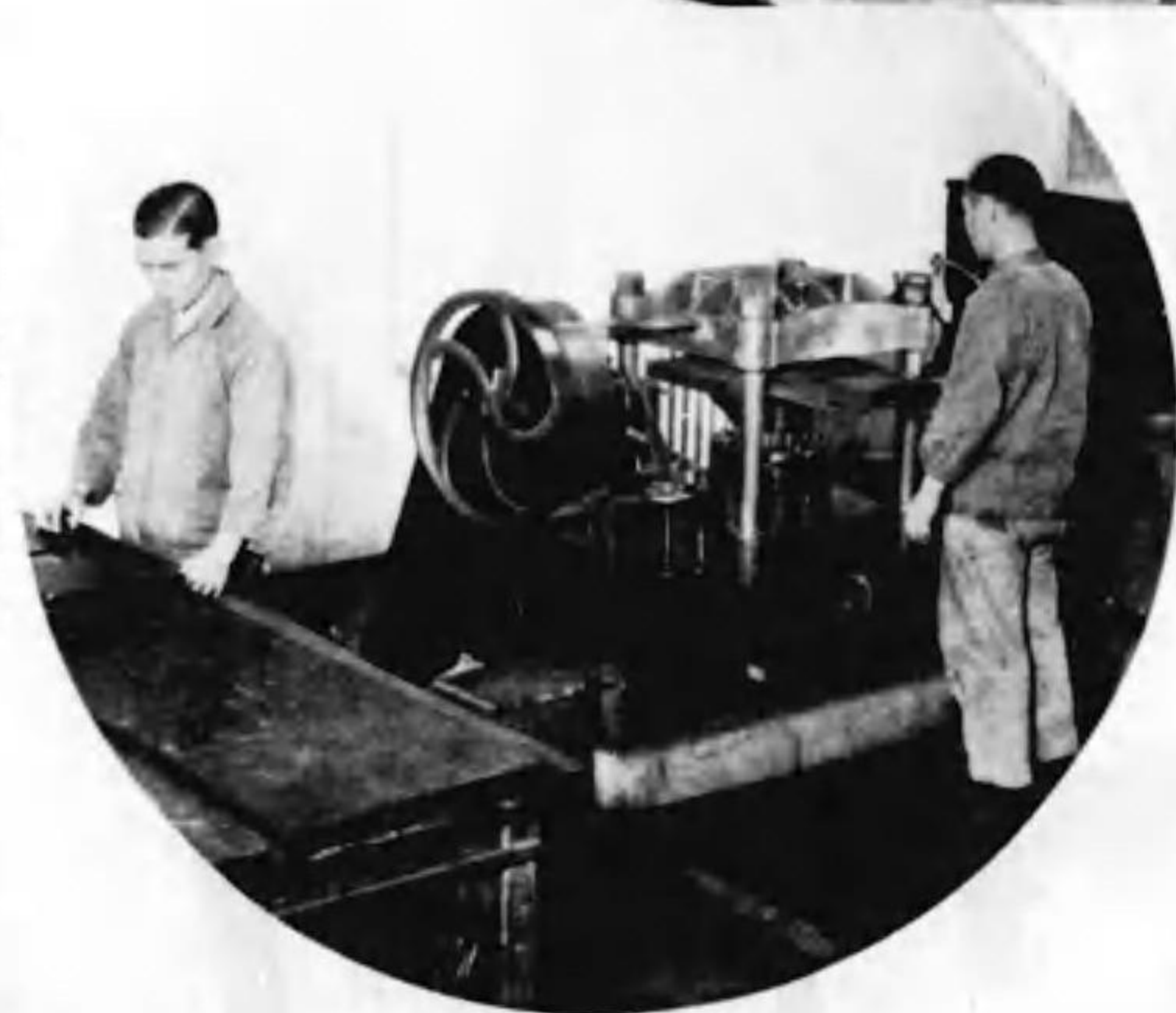


管保の料原



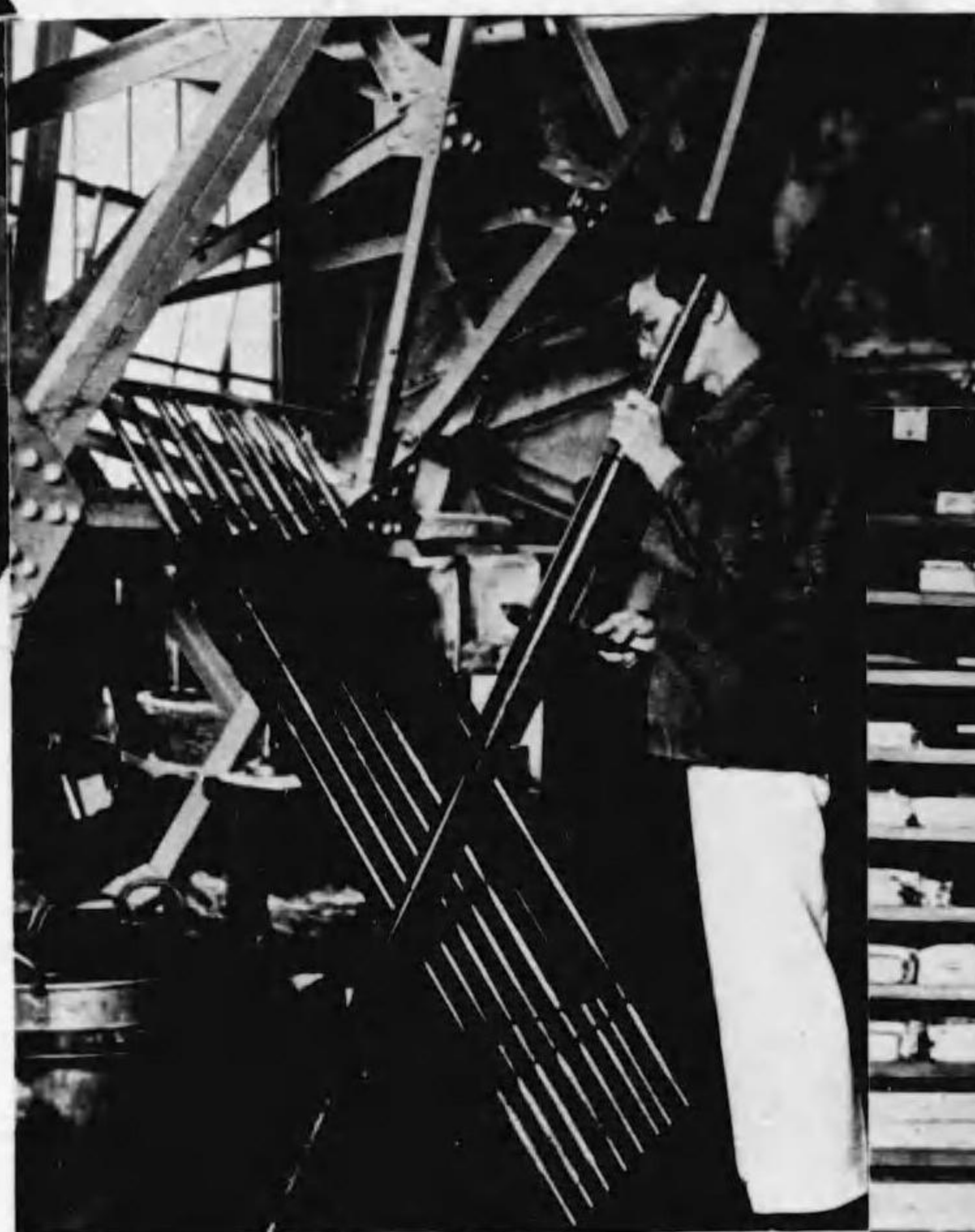
入搬の料原

版の裏へ鉛をつめる





紙用紙を運ぶ



印刷用ラールを作る



版の保管



版の班直し



版の削り仕上げ



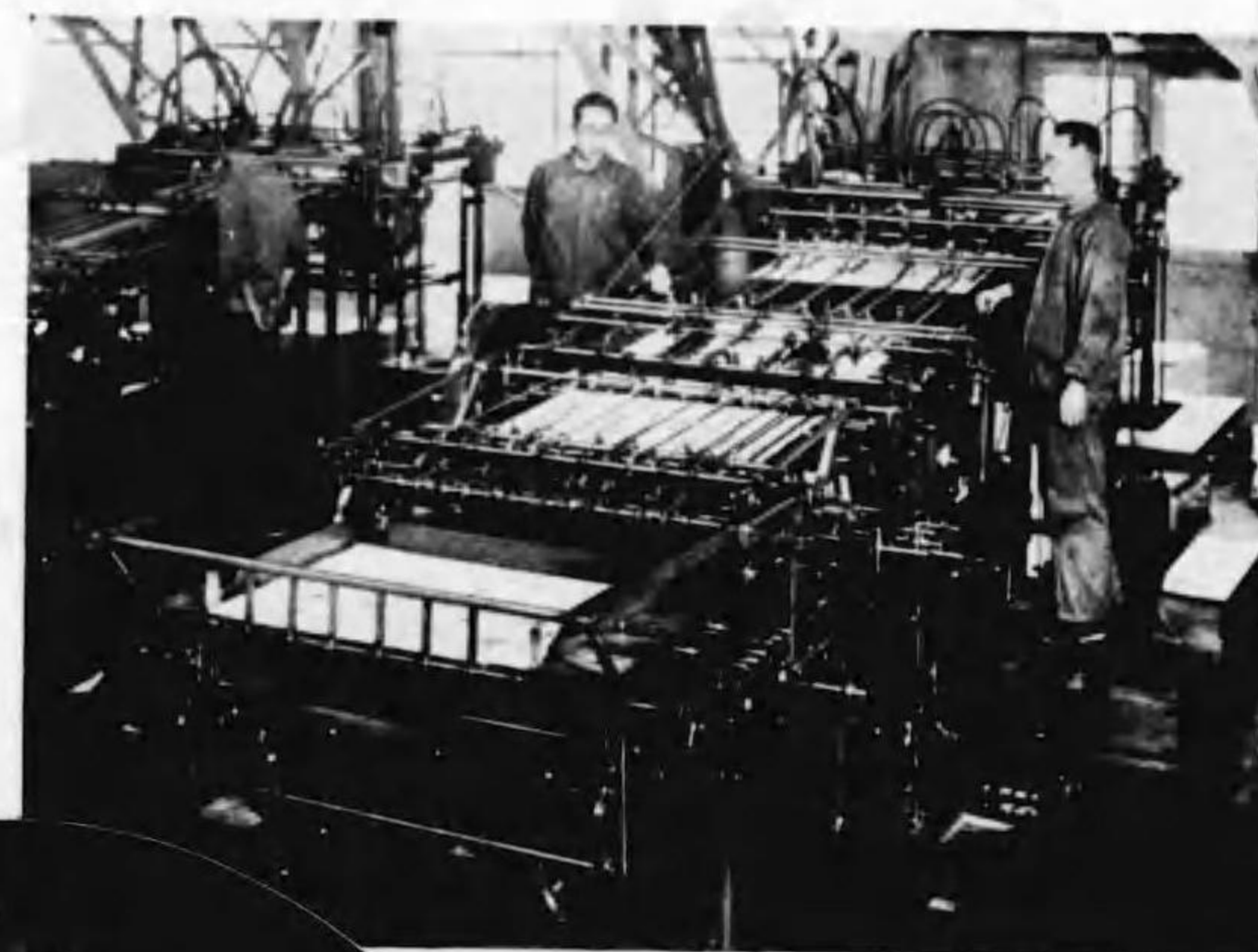
綴金針と合丁



付足の紙表



る折を本刷



刷 印



査 検 の 本 刷



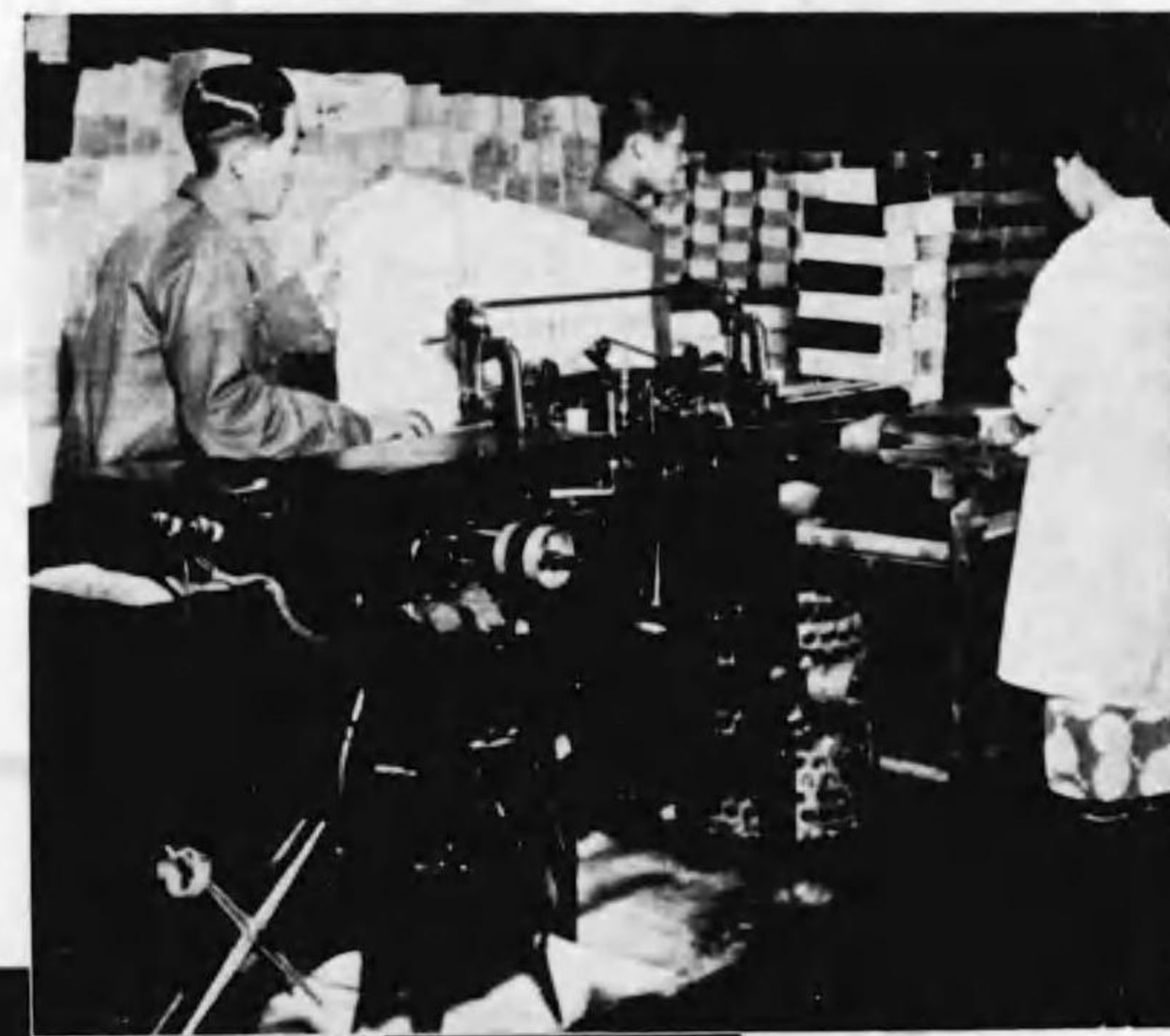
管保の品製



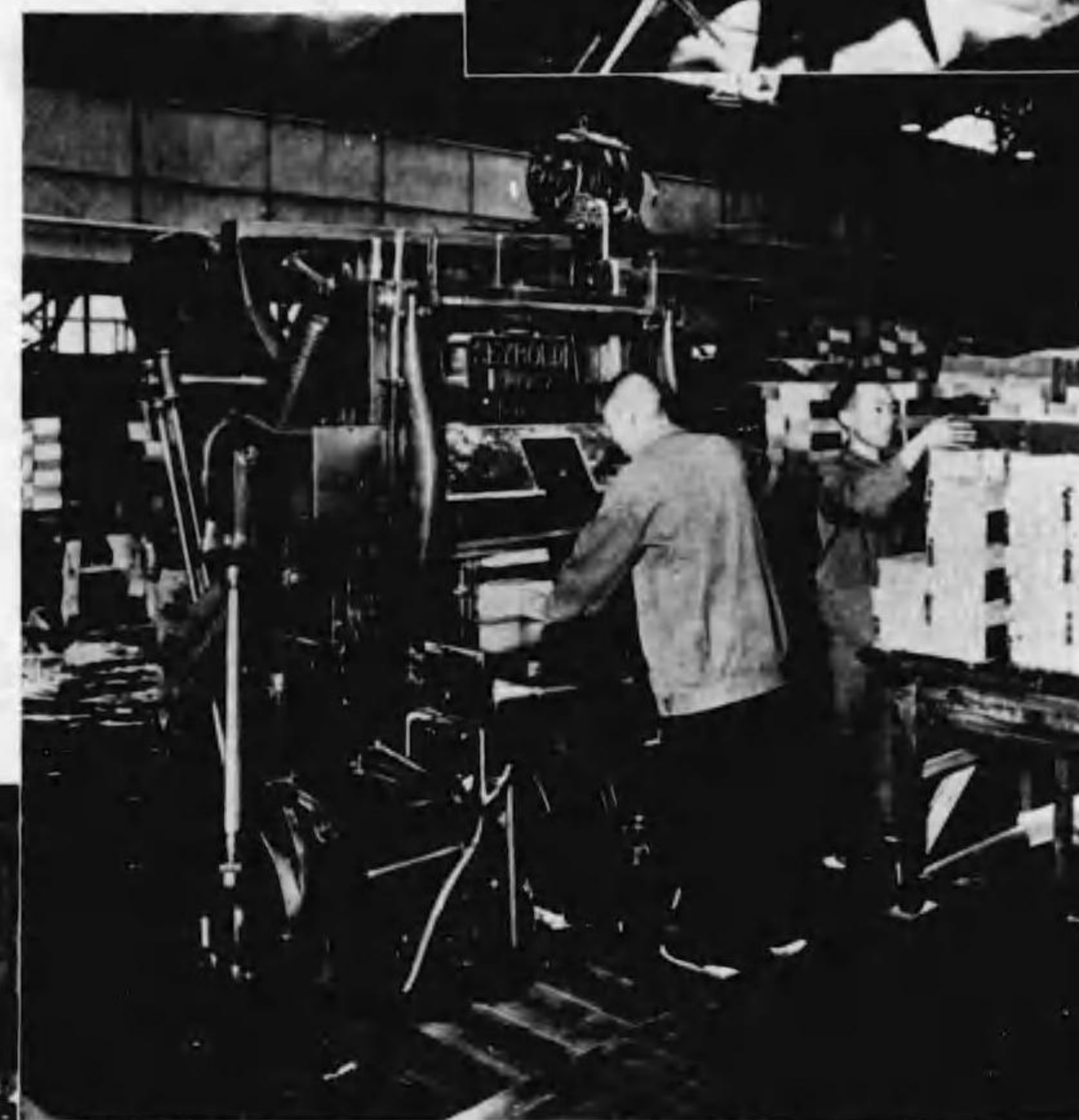
査検のり上仕



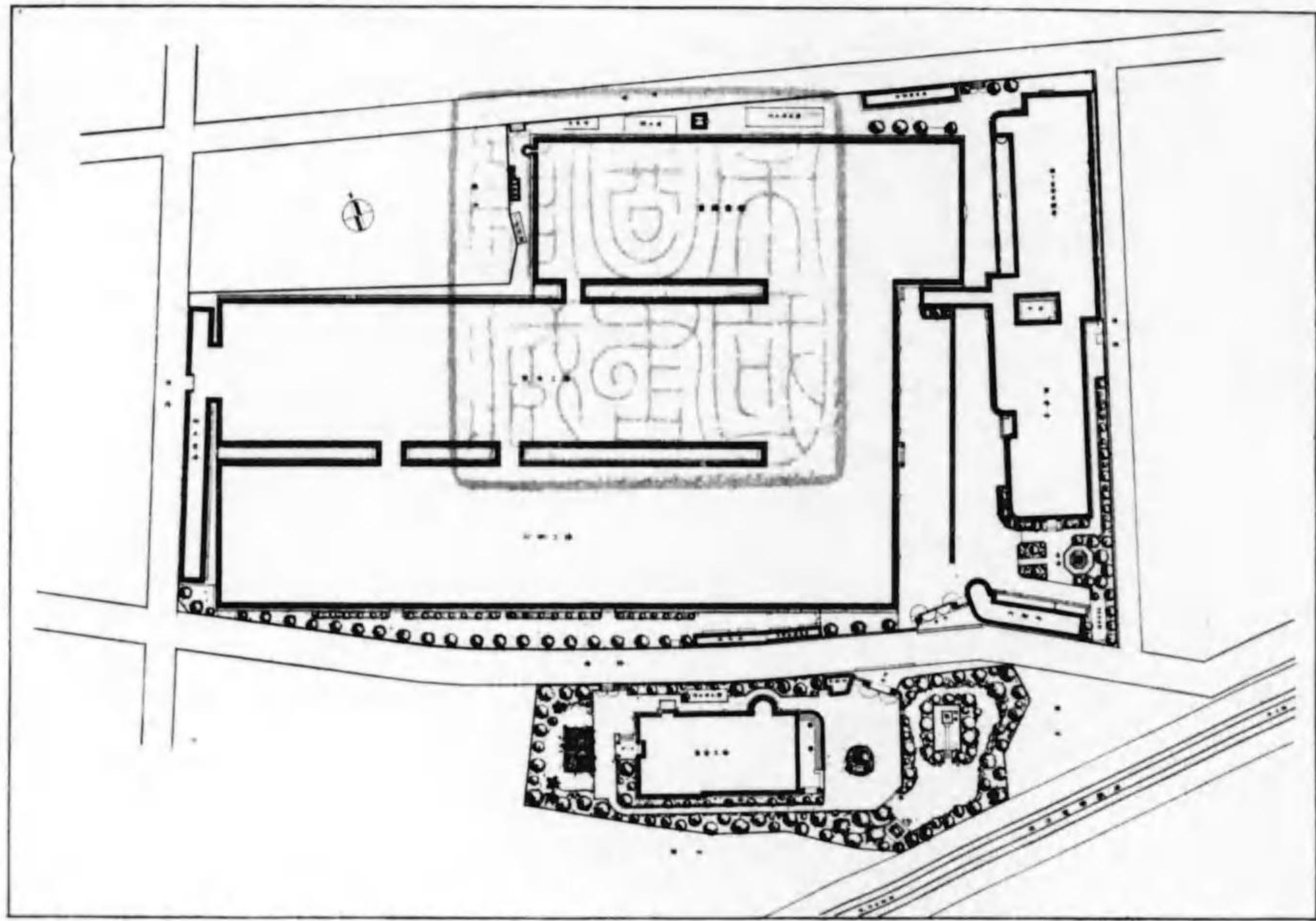
る貼を題外



貼背のスーロク



るす断截を方三



圖置配物建

東京書籍株式會社一覽

創 立 資 本
業 務 所 在 地
供 給 區 域

明治四十二年九月

九拾五萬圓(全額拂込済)

東京市王子區堀船町一丁目八五七番地

國定教科書翻刻發行

製版、印刷、製本

一府、十九縣(京都、千葉、埼玉、山梨、

神奈川、静岡、愛知、三重、岐阜、福井、

滋賀、岡山、廣島、島根、鳥取、山口、

福岡、大分、熊本、宮崎)

特約販賣所 二〇箇所

取次販賣所 一四三五箇所

小 學 校 八二四九箇所

三千七百六十五坪八合一勺六才

王子敷地 三、二一三、六七六坪

瀧野川敷地 五五二、一四〇坪

十四棟 二千七百七十九坪八合一才

事務所、食堂 四五九・五八一坪

工場倉庫 二、〇八六・一六〇坪

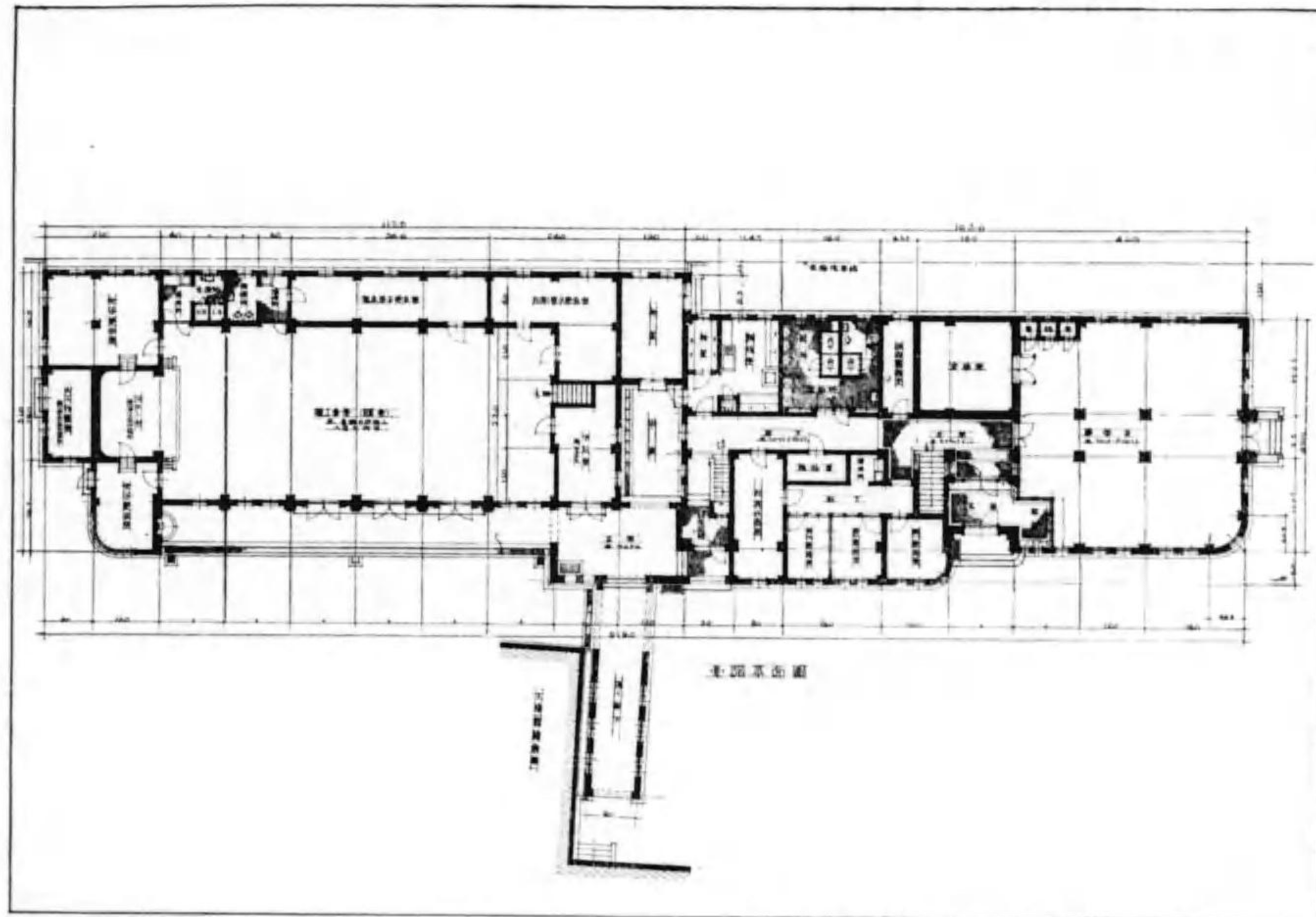
東書文庫 二三四・〇六〇坪

役 員、從 業 員

九 名

職 員 四 七 名

備 員 八 名



第一階平面圖 職工・食堂堂

作業設備

一、製版機械

- 芝浦製作所製六V、五KW直流發電機 一臺
- 安田鐵工所製蠟形プレス 一臺
- 安田鐵工所製裏仕上旋盤 一臺
- 安田鐵工所製空氣唧筒 一臺
- 山田鐵工所製フライス盤 一臺

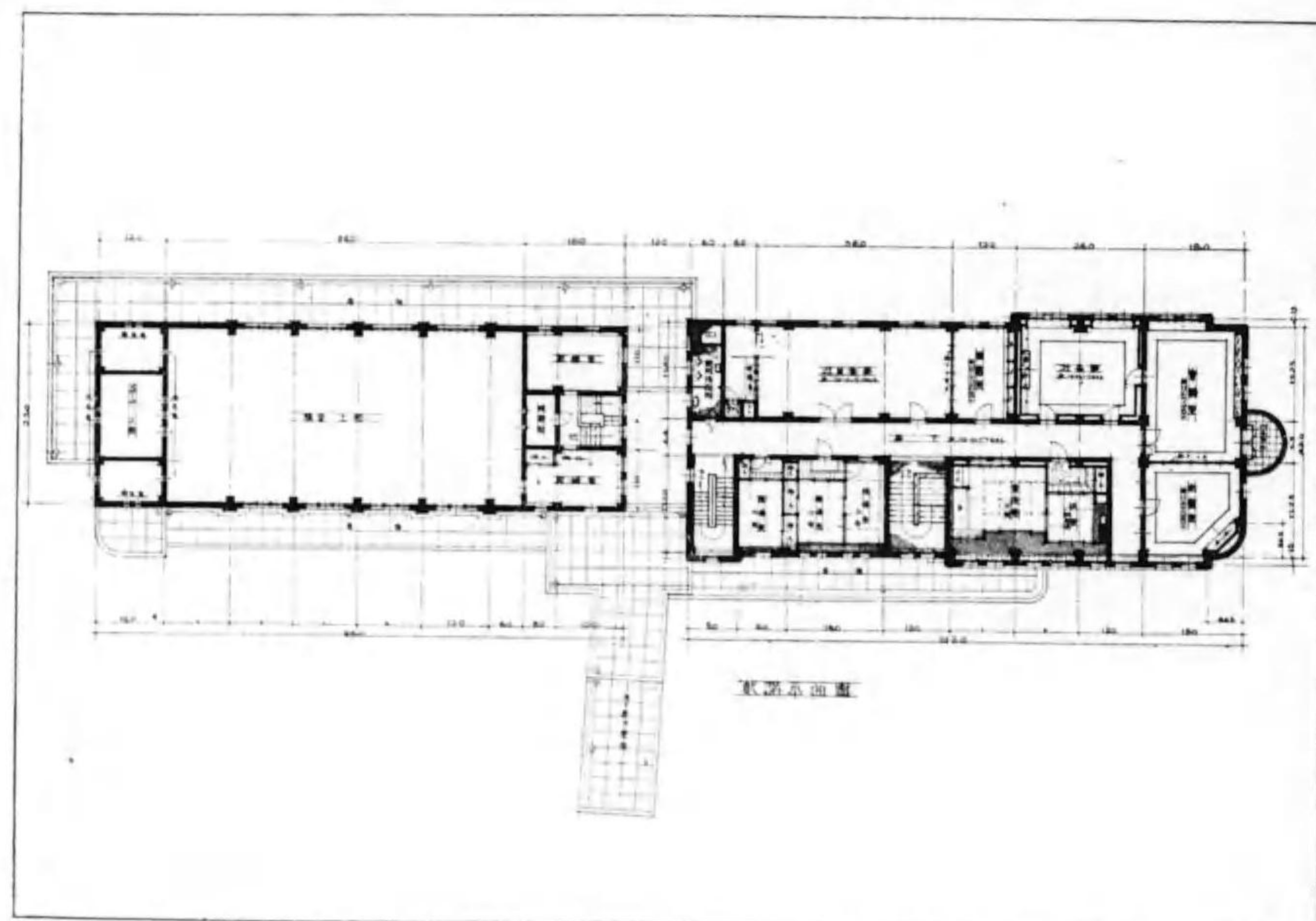
計 五臺

二、印刷機械

- 米國ミレー會社製菊判二廻轉式二色印刷機 四臺
- 米國ミレー會社製菊判二廻轉式印刷機 九臺
- 米國ミレー會社製四六判二廻轉式印刷機 二臺
- 中馬鐵工所製菊判二廻轉式印刷機 二臺
- 濱田印刷機製造會社製菊判二廻轉式印刷機 二臺
- 中馬鐵工所製四六半截二廻轉式印刷機 二臺
- 英國ダウソン會社製四六判印刷機 四臺
- 英國ダウソン會社製菊判印刷機 四臺
- 芳賀鐵工所製四六判印刷機 二臺
- 芳賀鐵工所製 菊判印刷機 八臺
- 芳賀鐵工所製菊半截印刷機 一臺

計 四〇臺

職工 二七七名
(男一八四名、女九三名)
計 三四一名



第二階平面圖 職工・食堂堂

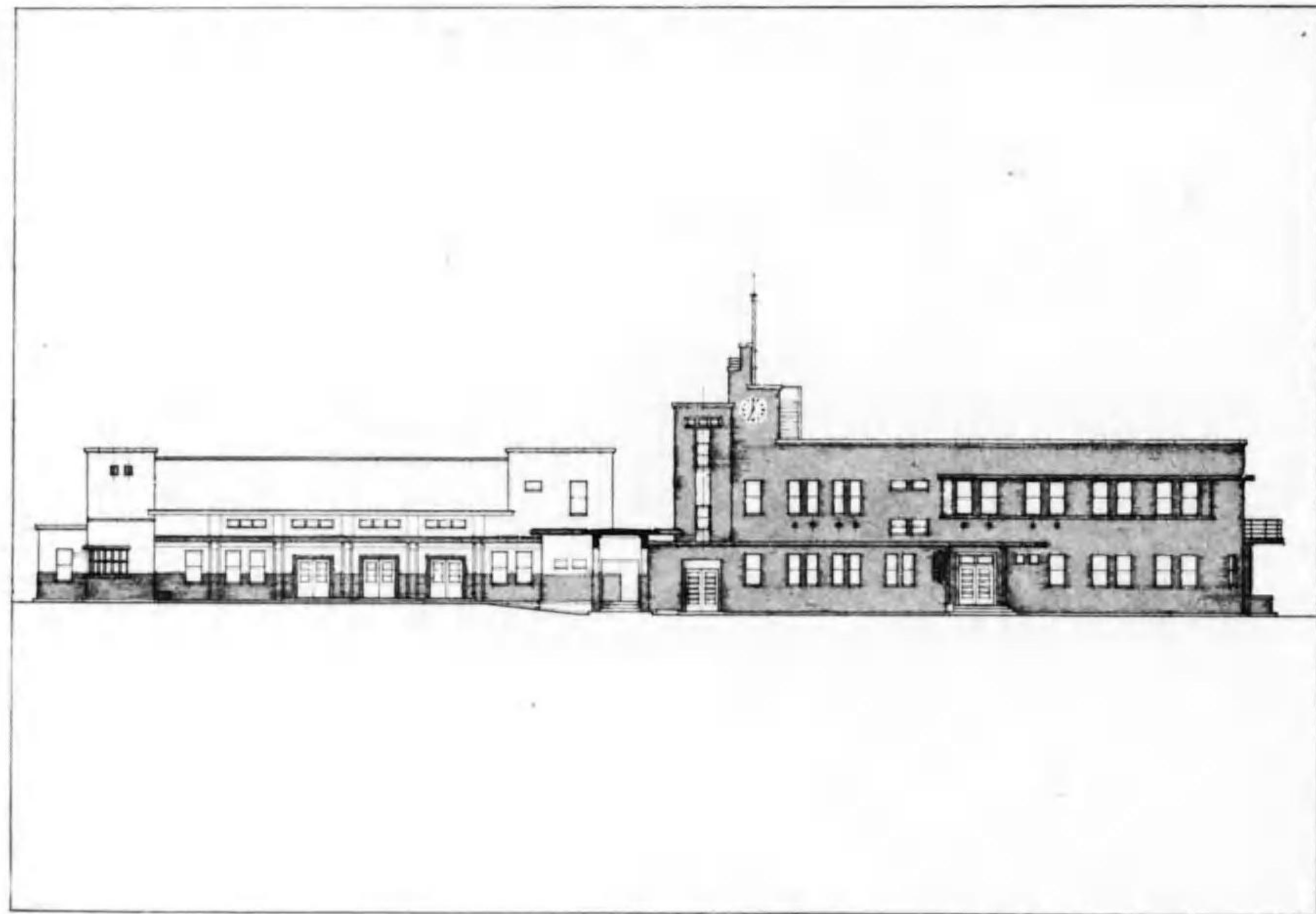
三、製本機械

- 米國デキスター會社製紙折機 六臺
- 芳野鐵工所製紙折機(八百八ツ折) 二臺
- 芳野鐵工所製紙折機(長四ツ折) 三臺
- 米國シーボルト會社製三方紙斷截機 二臺
- 獨逸クラウゼ會社製紙斷截機 一臺
- 本田鐵工所製紙斷截機 一臺
- 橋本鐵工所製紙斷截機 四臺
- 國友鐵工所製クロス斷截機 一臺
- 米國セリダン會社製針金綴機連結丁合機 一臺
- 米國モリソン會社製針金綴機 二臺
- 米國ブラケット會社製クロス背貼機 四臺
- 國友鐵工所製寒冷紗足貼機 二臺
- 中馬鐵工所製寒冷紗足貼機 二臺
- 四方田鐵工所製庖丁研磨機 二臺
- 白洋社製作所製エメリグラインダー 一臺
- 白洋社製作所製ドリ、ングマシン 一臺
- シンガロミシン及フジミシン 四臺
- 折本 縮 機 五臺

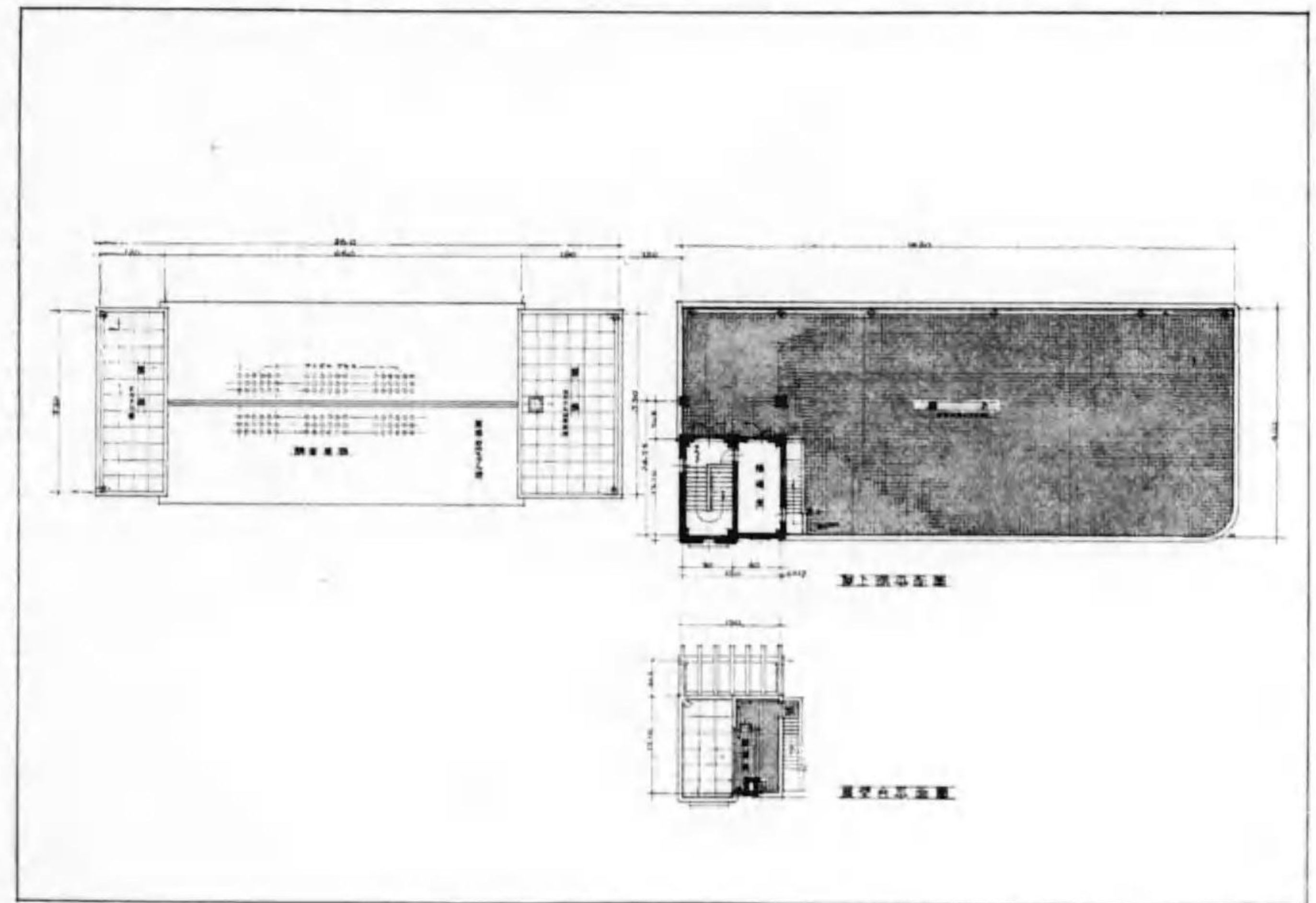
計 四五臺

四、電氣、暖房、衛生機械

- 在原製作所製響泉唧筒 一臺
- 東京ストーリー工業所製自動給炭機 二臺
- 日立製作所製タービンポンプ 二臺



圖面立 堂食工職・所務事



圖面平根屋 堂食工職・所務事

宇野澤組鐵工所製真空給水唧筒
 日立製作所製給湯循環唧筒
 宇野澤組鐵工所製空氣壓縮唧筒
 精工社製モーターサイレン

計 一〇臺

五、其他

電鍍用鍍金槽 四個
 鉛 熔 釜 二個
 高砂鐵工會社製鑄鐵製汽罐 二基
 三機工業會社製壓力水槽 一個
 三機工業會社製貯湯槽 一個
 芝浦製作所製變壓器 五臺
 芝浦製作所製配電盤 四面
 日下製作所製リフトトラック 七臺
 糊 膠 融 釜 三個
 糊 釜 一個

新築工事概要

一、位 置 事務所・工場 東京市王子區堀船町一

丁目八五七番地

東書文庫 東京市澁野川區西ケ原

一、三八〇番地ノ一

機械總數 一〇〇臺
 電動機總數 一〇七臺
 電動機總馬力數 三〇七・七三馬力

二、敷地面積 三、七六五・八一六坪

事務所・工場 三、二一三・六七六坪
 東書文庫 五五二・一四〇坪

三、建築面積 二、七七九・八〇一坪

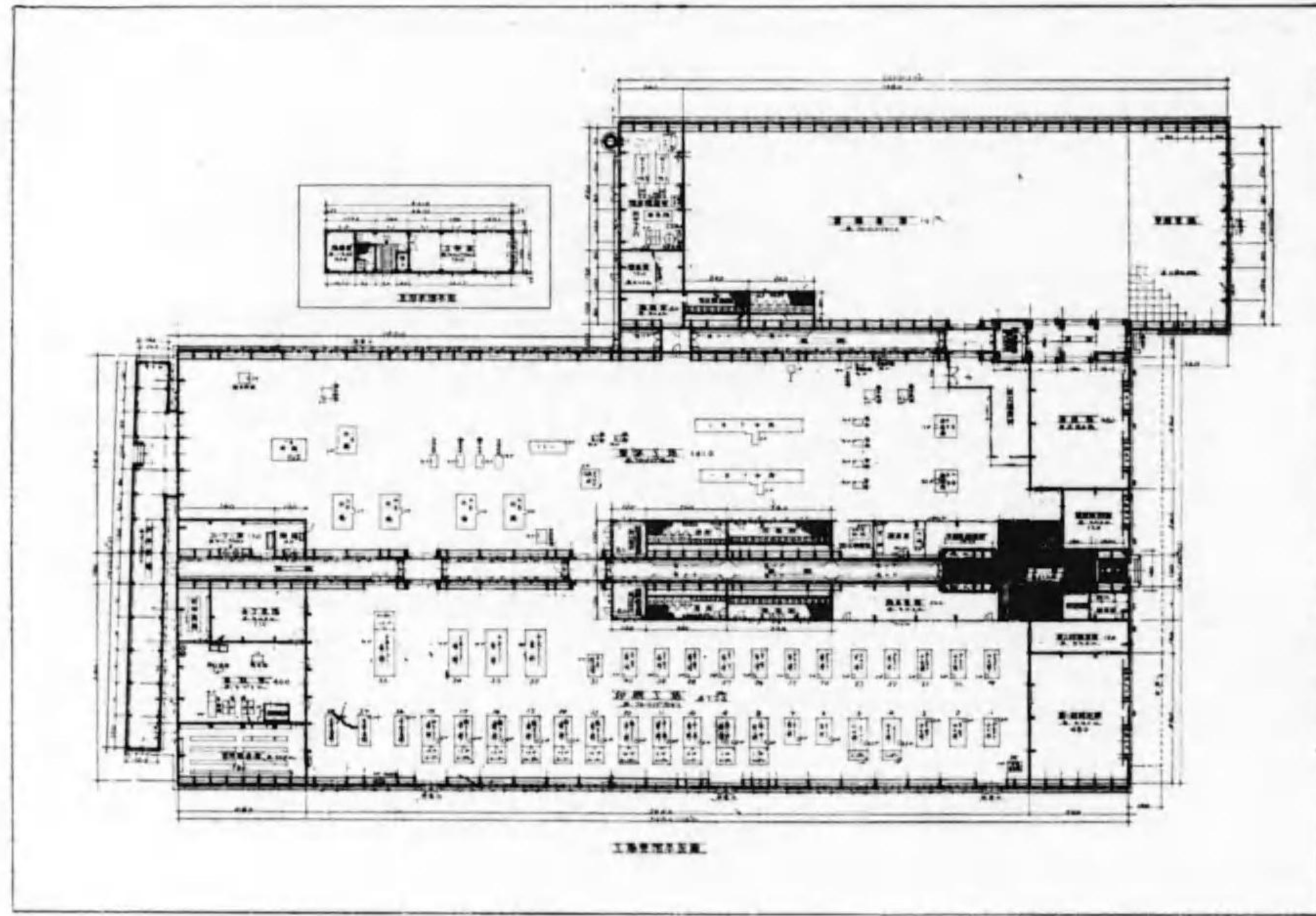
事務所・職工食堂 四三六・六五六坪
 門 衛 所 二二・九二五坪
 工場・附屬建物 二、〇八六・一六〇坪

四、軒 高(地盤面上)

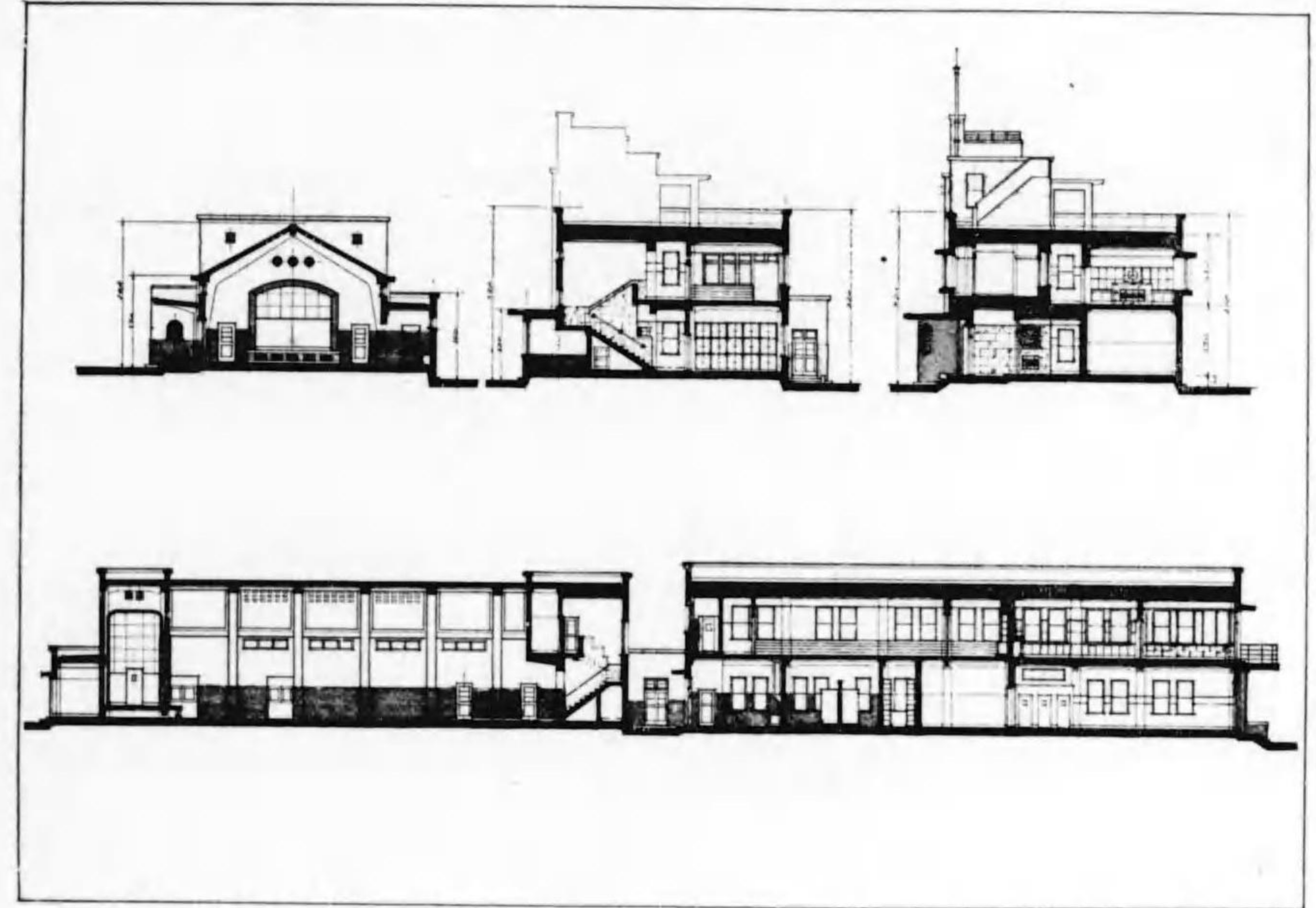
事務所屋根扶壁上端迄 三二尺
 事務所展望臺手摺上端迄 四六尺
 工場棟上部迄 三二尺五寸
 東書文庫屋根扶壁上端迄 三四尺
 門衛所軒上端迄 一三尺

五、構造

1 事務所・東書文庫
 基礎 特許「武智式混凝土杭」長十五尺を打込み、厚八寸割栗地形の上、鐵筋混凝土造基礎を築造す
 主體 鐵筋混凝土造とす
 屋根 陸屋根防水層施工の上、クリンカー、タイル敷きとし、職工食堂勾配屋根は防水モルタル塗りとす



工場平面圖



事務所・職工食堂堂斷面圖

2 工場

基礎 長十五尺生松丸太を地下水面下に打込み其上に鐵筋混凝土造基礎を築造す
 主體 特許「ダイヤモンド・トラス」型鐵骨造平家建、一部鐵筋混凝土造平家又は二階建とす
 屋根 厚八尺淺野波形スレート葺き、一部陸屋根防水層施工とす

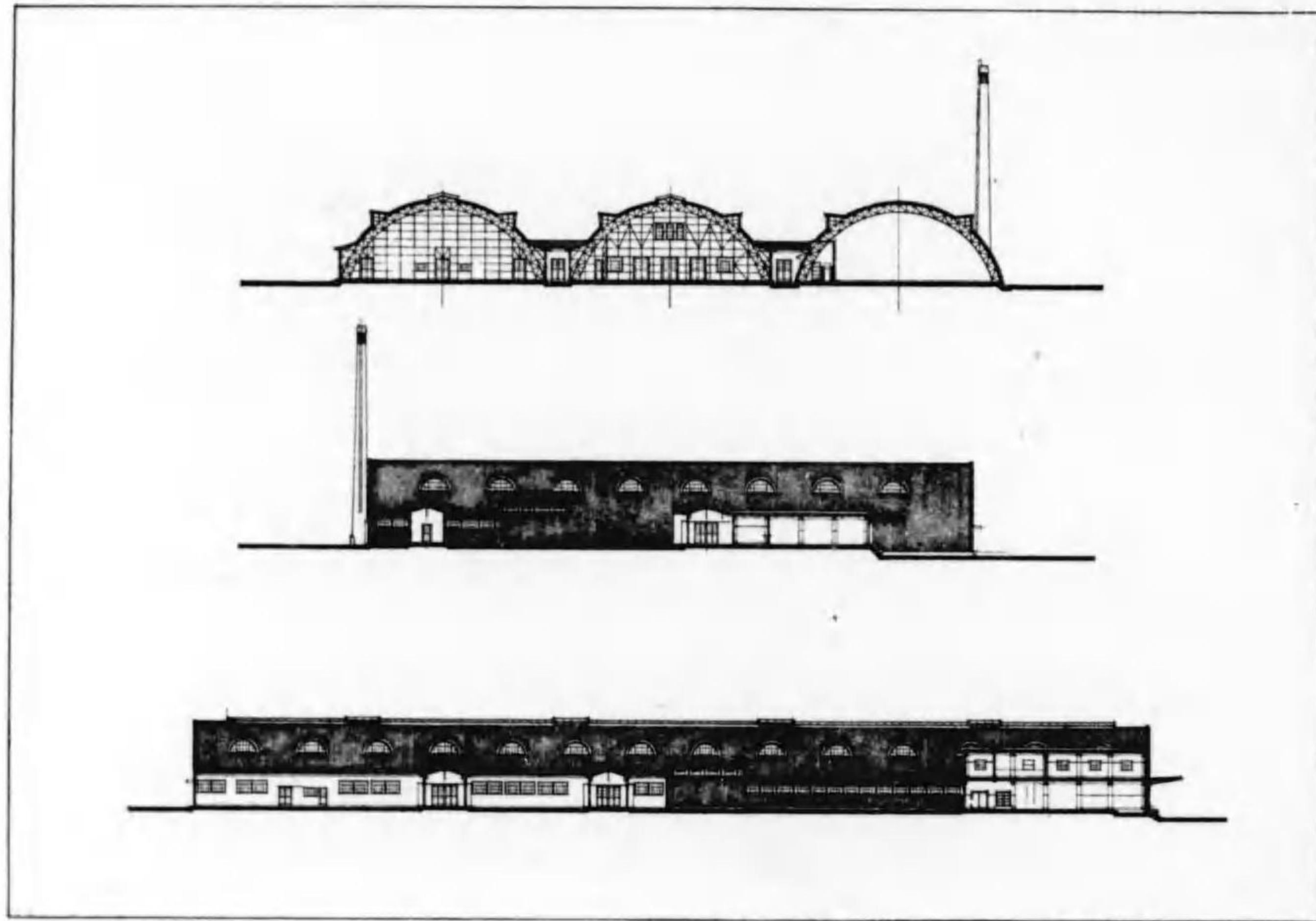
六、仕上

1 事務所・職工食堂

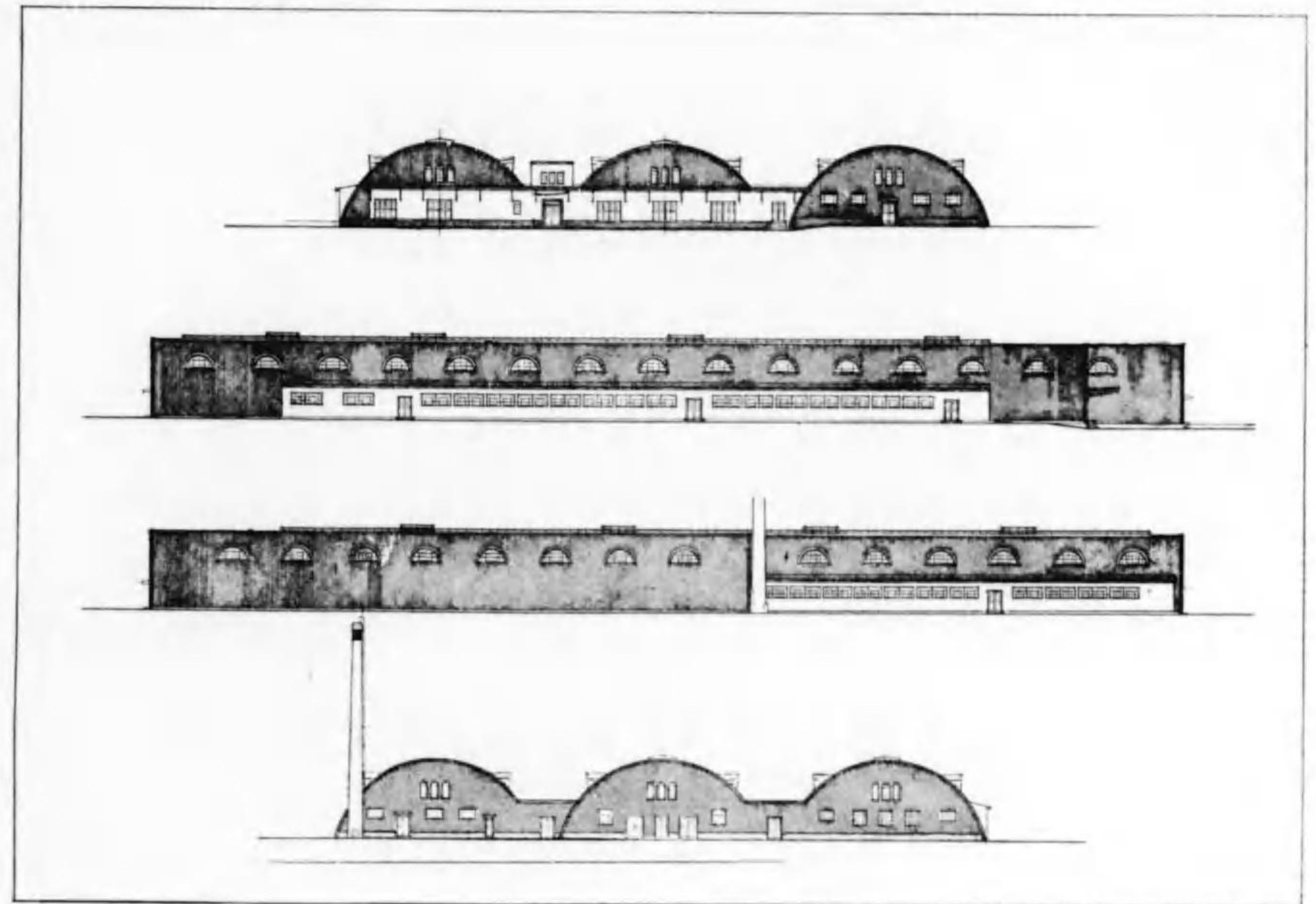
外裝 釉藥「スクラッチ・タイル」貼り一部「アートガン」吹付仕上とす
 内裝 玄關、廣間床陶匠園「モザイク・タイル」貼り、腰大理石貼り、天井漆喰塗りとす
 事務室床相互矧「フロアリング・ブロック」敷き腰モルタル下地「ノースター・ペイント」塗り、壁漆喰塗り、天井「トマテツキス」貼りとす
 社長室床相互矧「フロアリング又はパーケット・ブロック」敷き、腰チーク羽目板貼り、小壁「ウォール・テツキス」天井「トマテツキス」貼りとす
 來賓室、會議室床社長室同斷、腰チーク羽目板貼り、壁葛布貼り、天井「トマテツキス」貼りとす
 社員食堂床相互矧「フロアリング・ブロック」貼り、腰ラワン羽目板貼り、壁「ウォール・テツキス」天井「トマテツキス」貼りとす
 職工食堂床人造石研出し、腰泰山タイル貼り壁、天井漆喰及コルク吹付仕上とす

2 工場

外裝 兩妻はラス貼り混凝土下地の上に厚六尺淺野波形スレート貼り、兩側出窓はモルタル刷毛引又は「アートガン」吹付仕上とす
 内裝 玄關、廣間床色タイル貼り、腰「アートガン」吹付、壁、天井漆喰塗りとす
 工場、倉庫床相互矧「フロアリング・ブロック」敷き、壁、天井モルタル刷毛引とす
 荷造場床花崗板石敷とす
 箱材料置場床人造石研出しとす
 工務室床相互矧「フロアリング・ブロック」敷き腰モルタル塗り、壁、天井漆喰塗りとす
 3 東書文庫
 外裝 事務所同斷なれどもポーチは鍍花崗石及富國石貼り付とす
 内裝 事務所と殆んど同斷なれども二三異なる點を擧ぐれば



工場断面圖



工場立場圖

七、建 具

玄関、廣間、階段腰細型泰山タイル貼りとする、書庫は三層とし、第一層は混泥土下地モルタル塗り、第二、三層は編鋼板床とす
談話室床相互短「パーケットブロック」敷きとす

1 事務所・職工食堂

窓 外廻り全部東鋼式スチールサツシュ上げ下げとす

扉 玄関、廣間出入口扉は鐵製東洋ブロンズ

仕上外廻り出入口扉は東鋼式スチールドアールとす、社長室、來賓室、會議室扉はチーク材フラツシュ・ドアールとす

2 工場

天窗 坂本式「スカイ・ライト」とす

窓 東鋼式スチールサツシュ廻轉又は突き出しとす

3 東書文庫

窓、扉 事務所同斷なれども、記念室、特別閱覽室窓には鈴木式スチールシャッターを設備す

八、暖房設備

1 事務所・職工食堂

暖房室内蒸気「ヘツダー」より給蒸気主管を分岐

2 工場

せしめ事務所及職工食堂内に配置したる放熱器に送蒸して暖房の目的を達し其凝縮水は工場同斷の作用に依りて復歸せしむるものとす

眞空式低壓蒸気暖房にして汽罐室に鑄鐵製分割式蒸気罐二基を設置し、之に最良粉炭を燃燒せしめ、依つて生ずる五封度以内の蒸気を工場内の配管により各所に配置したる放熱器に送蒸して暖房の目的を達し、其凝縮水は眞空給水ポンプの眞空の作用にて還水主管を経てポンプ附屬のタンクに集中し、然る後に汽罐に復歸せしむるものとす

設備細目

一、分割式汽罐

二基

二、烟道

厚四分の一吋鐵板製

三、煙突

鐵筋混泥土造地上七

十五尺、避雷針付

四、眞空給水ポンプ

二臺

同上用電動機

二臺

五、自働粉炭燃燒機

二臺

同上用電動機

二臺

六、運炭裝置一式

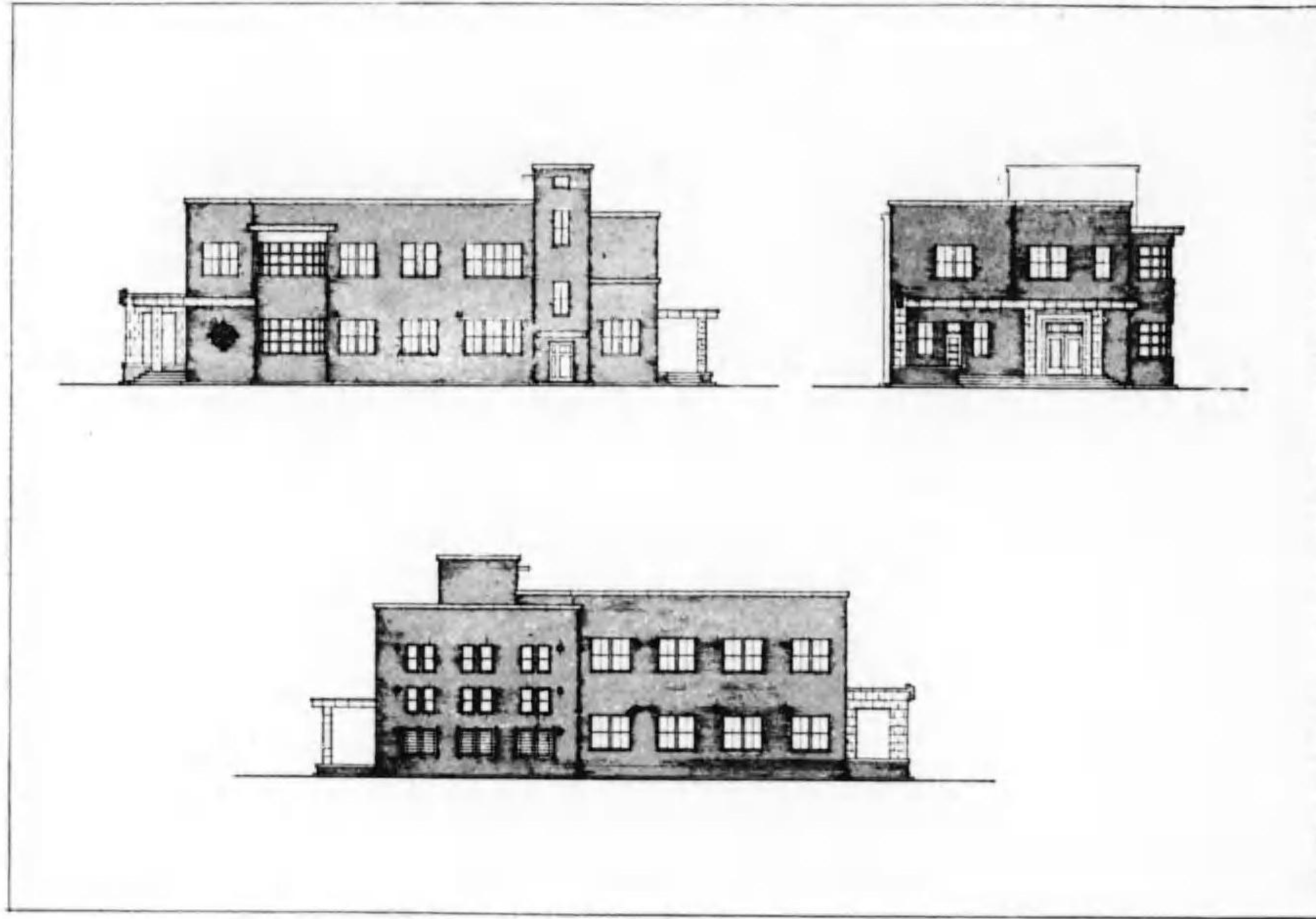
九、衛生設備

1 事務所・職工食堂

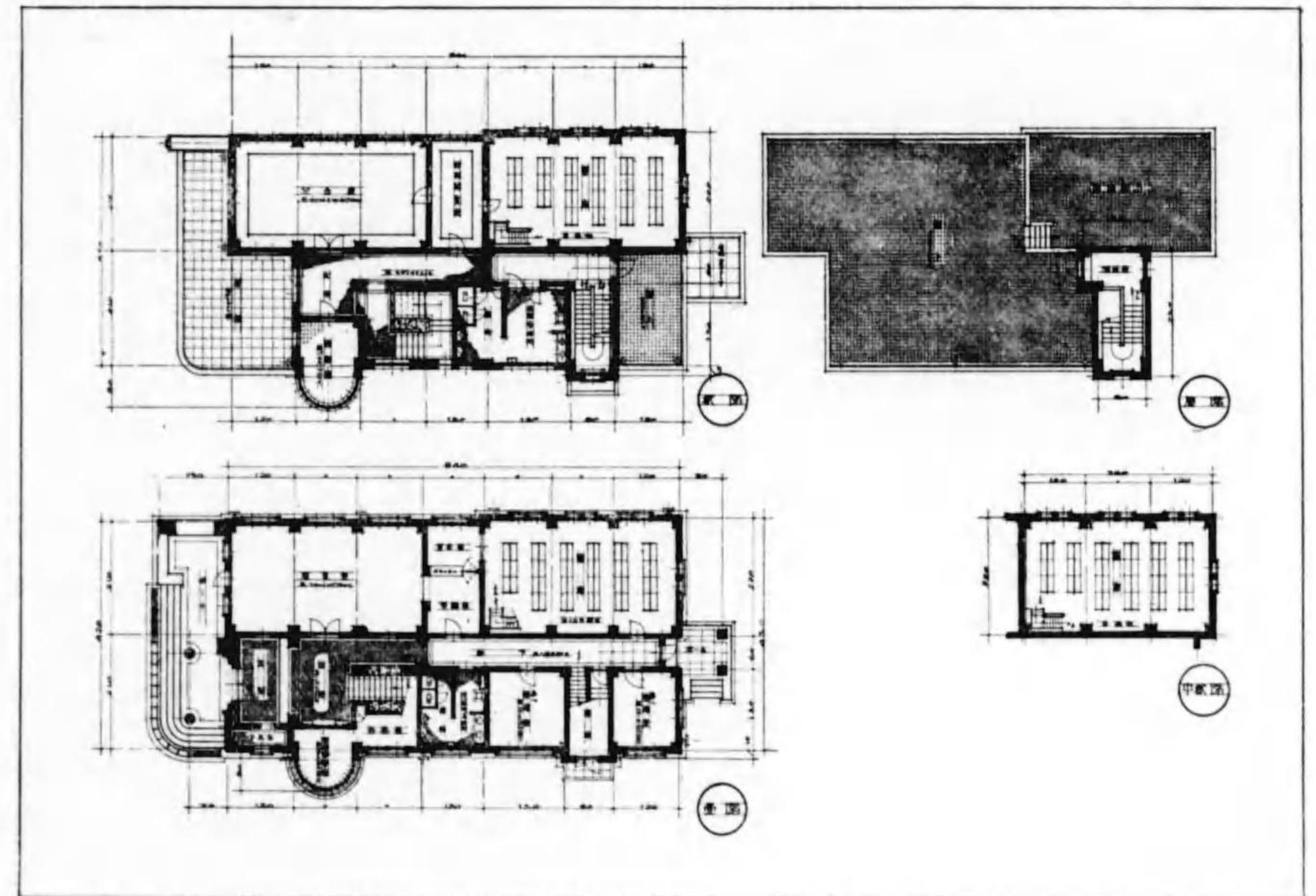
一、水道給水設備

工場内給水管(市水道直結)より枝管を分岐し





東文庫立庫面圖



東文庫各階平面圖

- 二、給湯設備
 暖房室内壓力水槽よりの井水を球栓によりて汽罐室上部にある膨脹水槽に導き更に貯湯槽に導き暖房蒸気によりて加熱し各工場洗面所に給湯するものとす
- 三、排水設備
 汚水排水は各便所よりの汚水を集めて鑄鐵管及ヒューム管によりて淨化槽に導くものとす
 一般排水は排水管によりて屋外雨水排水用溜桝に導き市設下水道に放流するものとす
- 四、汚水淨化槽設備
 本淨化槽は鐵筋混凝土造五〇〇人槽にして工場内各便所より來れる汚水を完全に淨化して市設下水道に放流するものとす
- 五、井水給水設備
 (イ) 鑿井
 鐵筋混凝土造ポンプ室内に深さ四五〇尺の鑿井工事をして揚水ポンプに依り一晝夜五千石の揚水量を得
 沈砂槽・貯水槽
 鐵筋混凝土造にして鑿井より揚水したる水は一旦沈砂槽に導きて砂を沈澱せしめ其上水を貯水槽に導くものとす
- (ロ)

- 事務所及職工食堂内各消火栓、洗面器及湯沸器等に給水するものとす
- 二、瓦斯・給湯設備
 (イ) 瓦斯は東側道路に埋設されたる瓦斯本管より引込み事務所並職工食堂の各所に供給するものとす
 (ロ) 調理室には大型「ジュビター」自動湯沸器を設備し瓦斯水道直結となし配管によりて一、二階洗面器に給湯するものとす
 職工食堂湯沸場には大型「アルマイト」製自動湯沸器を設備し瓦斯、水道直結となし熱湯を供給するものとす
- 三、汚水淨化槽設備
 鐵筋混凝土造にして一四四人槽とす
- 四、井水給水設備
 壓力水槽を経て給水せらるゝ工場内給水管より枝管を分岐せしめ便所及靴洗栓に給水するものとす
- 五、靴洗設備
 玄關入口側には靴洗用輸水管及ブラシ掛を設備す
- 2 工場
 一、水道給水設備
 工場北側道路に埋設されたる市水道一〇〇糎管より同徑の取出管を設け之より更に四〇糎

(ハ) 給 水

二段「タービン」ポンプによりて貯水槽より暖房室内に設けたる壓力水槽に揚水し水槽より壓力自働装置によりて各工場に給水するものとす

六、瓦斯設備

西側道路に埋設されたる瓦斯本管より引込みルーラー室及製版室に供給するものとす

十、防火設備

1 市設基本消火栓設備

工場及東書文庫に各「スタンド」式市設基本消火栓を設備す

2 自働消火栓設備

事務所内三ヶ所、工場内七ヶ所、東書文庫内二ヶ所特許C・E・C式第四號型自働消火栓を設備し各長一〇〇尺の「ホース」を有す

3 ビストル消火器設備

自動車庫、危險物貯藏庫には消火砂と共にビストル消火器を設備す

4 消火砂設備

工場内要所には消火砂を常備す

十一、電氣設備

1 變電所設備

電氣室内外に保安裝置、高壓受電盤變壓器一次盤、低壓動力盤、低壓電燈盤、變壓器其他附屬品一式を設備す

2 電燈及「コンセント」設備

影無き照明を目標として設備し、室内要所及各機械に「コンセント」を設備す

3 電氣時計設備

事務所展望塔には直徑四尺の大時計を取付け、事務所、工場、東書文庫共各室要所に大小の電氣時計を設備し、工場受付室に設けたる自働調節機により一齊に調節し得るものとす

4 電話設備

事務所、工場、東書文庫共要所に構内用卓上電話器を設備し工場受付室の自働交換機によりて迅速に通話するものとす

5 「モーターサイレン」及電鈴設備

工場内要所に電鈴を設備し、工務室屋上に取付けたる「サイレン」と同時に工場受付室に於て操作するものとす

6 呼鈴設備

事務所内要所に呼鈴を設備し、受付上部に取付けたる標示器によりて發信位置を明示するものとす
事務所門衛所、東書文庫門衛所間には警報用呼鈴を設備す

7 設備細目

一、變 壓 器

七五KVA 三臺 工場動力用
二五KVA 二臺 工場電燈用

一五KVA 二臺 事務所、食堂電燈用
七・五KVA 二臺 東書文庫電燈用

二、電話・電燈

自働交換機 一臺

構内電話器 一八臺

電燈總數 六〇〇燈

工場 三一八燈

内 事務所、食堂 一六八燈

東書文庫 九一燈

其 他 二三燈

十二、工事工程

昭和九年五月二十六日 工場地鎮祭

昭和十年三月十四日 工場鐵骨上棟式

昭和十年五月七日 事務所、東書文庫地鎮祭

昭和十一年六月二十五日 落成祝典

十三、工事關係者

一、建築事務

石川 正夫
駒越 五貞
西谷 健吉
山木 喜一
吉永 三郎
柴田 加壽美
下世 古三雄
技師 内山 清松

一、設計監督

技師 内山 清松
機械係

一、建築請負

建築一般工事 株式會社 島 藤
工場鐵骨工事 三井物産株式會社
株式會社巴組鐵工所

一、設備請負

電 氣 工 事 日本電飾株式會社
電 燈 器 具 工 事 東電電氣商品株式會社
暖 房 工 事 三機工業株式會社
給排水、衛生工事 右 同
瓦 工 工 事 東京瓦斯株式會社
「リフト」工事 日本エレベーター製造株式會社
鋼鐵家具設備 東京鋼鐵工業株式會社
日本鋼鐵家具株式會社
家具 裝 飾 セレベス商會
株式會社 居附木工場
株式會社 白木屋
植樹工事 植萬、伊藤萬太郎
鑿泉工事 日本鑿泉合資會社

一、下請人

大西 幸次郎
武智式基礎工事事務所
東京フエロ、コンクリート工業所
大工 野 寛 敬
左官 水 駒 吉
石工 高野 六三
大理 安藤 大石商店
研工 富永 箭一
鐵筋工 坂本 伊之助

鐵骨工事
 防水工事
 スレート工事
 防水剤ロータス供給
 タイル工事
 塗師工事
 アートガン吹付工事
 ウォールテックス工事
 トマテックス供給
 硝子工事
 天窓工事
 プリズム硝子工事
 富國石工事
 テラゾ工事
 フロアリング、プロック工事
 鋳工工事
 書庫内鐵骨及書架工事
 防火シャッター工事
 金物工事
 プロンチング工事
 リノタイル工事
 コルク及畳工事
 金庫扉工事
 スチールサッシュ及ドアー工事
 木製建具工事
 フラッシュドアー供給
 ルーフドレイン供給

坂本伊之助
 三機、東洋鋼材株式會社
 高山商會
 淺野スレート株式會社
 華陽貿易商會
 日本陶業株式會社
 昭和タイル商會
 辻塗料研究所
 戸谷庄松
 白洋商工社
 右同
 三和商會
 關川龜吉會
 坂本商會
 島田硝子製造所
 金子爲之助
 三機工業株式會社
 東京テラゾ商會
 相互木村工業合資會社
 宮本雅司
 東京鋼鐵工業株式會社
 三機工業株式會社
 堀建築金物商店
 關野建築金物商店
 東洋プロンチング株式會社
 東洋リノウム株式會社
 伴傳商店
 佐倉鋼鐵工業株式會社
 三機、東洋鋼材株式會社
 廣川幸吉
 新田ベニヤ商會
 齋藤久孝事務所

排水土管供給
 フエロ、コンクリート
 塀工事
 セメント供給
 砂、砂利供給

日本陶管株式會社
 東京フエロ、コンクリ
 ト工業所
 村本商會
 三協商會
 (以上)

昭和十一年六月十九日印刷
 昭和十一年六月廿五日發行

【非賣品】

11.6.22

編輯者 東京市王子區船町一ノ八五七
 東京書籍株式會社
 代表者 石川正作
 印刷者 東京市下谷區二長町一番地
 米田久能
 印刷所 東京市下谷區二長町一番地
 凸版印刷株式會社

終

